NEC

NEC プロジェクター

# ViewLight®

ビューライト

## NP-PE401HJD

# 取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください


1. 添付品や名称を確認する — 1
2. 映像を投写する（基本操作） — 2
3. 便利な機能 — 3
4. オンスクリーンメニュー — 4
5. 機器と接続する — 5
6. 本体のお手入れ／ランプの交換 — 6
7. 付録 — 7

# はじめに

このたびは、NEC プロジェクター NP-PE401HJD（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機は、コンピュータや DVD プレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

● 機種名について
本機に貼付しているラベルでは、機種名を「NP-PE401H」と表記しています。
取扱説明書では、機種名の末尾に「JD」を付けて表記しています。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© NEC Display Solutions, Ltd. 2013
2013 年 4 月　初版
NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製･改変などを行うことはできません。

# 本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。 |

## 絵表示の例

| | |
|---|---|
| | △ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。<br>図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。 |
| | ⃠ 記号はしてはいけないことを表しています。<br>図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
| | ● 記号はしなければならないことを表しています。<br>図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

# ⚠警告

## 本機は日本国内専用です

国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
  添付の電源コードは国内使用専用です。
  日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
  詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

## 電源コードの取り扱いは大切に

- 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - コードの上に重い物をのせない
  - コードをプロジェクターの下敷きにしない
  - コードの上を敷物などで覆わない
  - コードを傷つけない、加工しない
  - コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - コードを加熱しない

  電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

## 故障したときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

## 水場や水にぬれるような所には置かない

水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - 風呂やシャワー室で使用しない
  - プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
  - プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

  万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 次のような所では使用しない

- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - 暖房の近くや振動の多い所
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 油煙や湯気の当たるような場所
  - 調理台や加湿器のそば

# ⚠警告

## 動作中にレンズの前に物を置かない

- レンズは本機のレンズカバー以外の物で塞がないでください。
  動作中にレンズカバー以外の物でレンズを塞いだり光をさえぎったりすると、その物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

## 内部に物を入れない

異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
  火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
  万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
  感電の原因となります。

## キャビネットは絶対にあけない

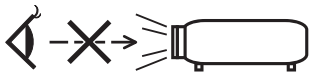
分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
  また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
  内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相録ください。

## プロジェクターのレンズをのぞかない

レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## ランプ交換は電源を切ってから

電源プラグをコンセントから抜く

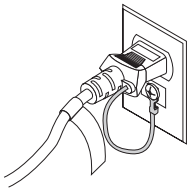
- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1 時間おいてから行ってください。
  動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
  詳細は 98、99 ページをご覧ください。

## 天吊り設置について

● 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

# ⚠注意

## 機器のアースは確実にとってください



● 本機の電源プラグはアース付き 2 芯プラグです。
機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は 28 ページをご覧ください。

## ぬれた手で電源プラグに触れない

ぬれた手は危険

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

## 通風孔をふさがない

● プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物、および熱で変形したり悪影響を受ける物を置かないでください。
火災の原因となることがあります。
プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

## 移動するときは電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。
● 移動する場合は、ケーブルカバーを持たないでください。
ケーブルカバーが外れ本体が落下し、けがの原因となることがあります。

## 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## お手入れの際は電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

# ⚠注意

## 投写中および投写終了直後は排気口をさわらない

- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

## 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

- 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

## 電池の取り扱いについて

- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・指定以外の電池は使用しない
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 点検・本体内部の清掃について

内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1 年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## 電源コードはコンセントに接続する

- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

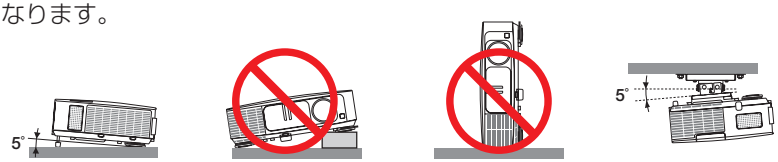
## 3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意

- 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（DVD、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および液晶シャッタ眼鏡に添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
  - ・3D 映像を視聴する以外の目的で、液晶シャッタ眼鏡を使用しないでください。
  - ・スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
  - ・ 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
  - ・本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
  - ・ 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。

# お願い

## 性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0 ～ 5°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。




- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5 時間／日または 260 日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。（81 ページ）
- 標高約 760m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高速」に設定してください。「高速」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
  外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
  スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
  本機を使用されないときは、レンズカバーを閉じておいてください。
- 廃棄について
  本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## ランプ取り扱い上の注意

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
  なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

## 電源プラグを抜く際の注意

- 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
  アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

## 本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能①、②を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを経由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

**① スタンバイモード（工場出荷時の設定：省電力）**
**▶ 外部機器から制御する場合は「標準」に変更してください。**

注意

- 「省電力」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。
  PC コントロール端子、モニタ出力端子、LAN 機能、メール通知機能、DDC/CI（Virtual Remote Tool）

**② オートパワーオフ（工場出荷時の設定：30 分）**
**▶ 外部機器から制御する場合は「0」に変更してください。**

注意

- 「30 分」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 30 分続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。

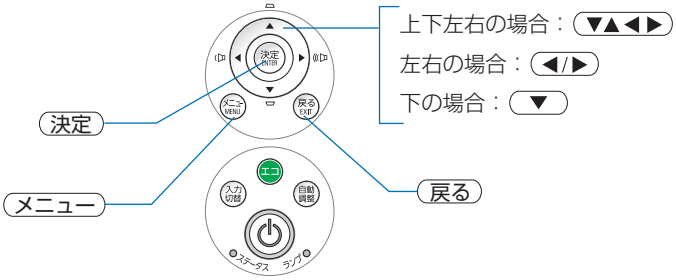
# 本書の表記について

## マークの意味

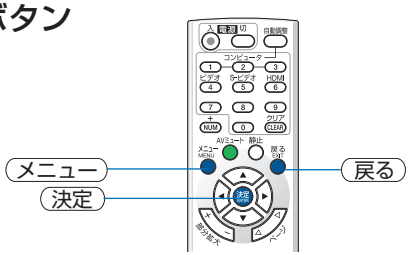
| | |
|---|---|
| 重要 | データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。 |
| 注意 | 注意や制限事項を表しています。 |
| 参考 | 補足説明や役立つ情報を表しています。 |
| | 本書内の参照ページを表しています。 |

## 操作ボタンの表記例

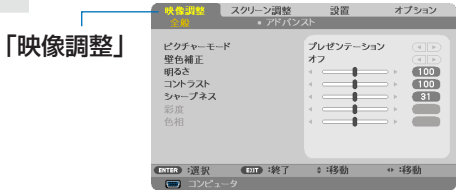
### ●本体の操作ボタン




### ●リモコンの操作ボタン




## メニュー項目の表記例




参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

# 目次

はじめに …… 表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください … 3
お願い …… 9
本書の表記について……12
目次 ……13

## 1. 添付品や名称を確認する …… 15

1-1. 特長 …… 15
1-2. 添付品の確認 …… 17
1-3. 本体各部の名称 …… 19
1-4. リモコン各部の名称 …… 23

## 2. 映像を投写する（基本操作）…… 27

2-1. 映像を投写する流れ …… 27
2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する …… 28
2-3. 本機の電源を入れる …… 29
2-4. 入力信号を選択する …… 31
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する …… 33
2-6. 台形歪みを調整する …… 36
2-7. コンピュータの映像を自動調整する …… 38
2-8. 本機の音量を調整する …… 39
2-9. 本機の電源を切る …… 40
2-10. あとかたづけ …… 41

## 3. 便利な機能 …… 42

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート） …… 42
3-2. 動画を静止画にする（静止）…… 42
3-3. 映像の一部を拡大する ( 部分拡大 ) …… 43
3-4. セキュリティを設定して無断使用を防止する …… 44
3-5. コンピュータケーブルを使って本機を操作する（Virtual Remote Tool）…… 49
3-6. 別売のマウスレシーバを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う … 55
3-7. 3D 映像を投写する…… 57
3-8. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作 …… 60
3-9. LAN を経由して本機を操作する
（PC Control Utility Pro 4/Pro 5） …… 62

## 4. オンスクリーンメニュー …… 67

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作 …… 67
4-2. オンスクリーンメニュー一覧 …… 68
4-3. 映像調整 …… 71
4-4. スクリーン調整 …… 74
4-5. 設置 …… 76
4-6. オプション …… 81

## 5. 機器と接続する …… 86

5-1. コンピュータと接続する …… 86
5-2. ディスプレイと接続する …… 89
5-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する …… 90
5-4. 書画カメラと接続する …… 93
5-5. 有線 LAN と接続する …… 94

## 6. 本体のお手入れ／ランプの交換 …… 95

6-1. フィルタの清掃 …… 95
6-2. レンズの清掃 …… 96
6-3. キャビネットの清掃 …… 97
6-4. ランプとフィルタの交換 …… 98

## 7. 付　録 …… 104

投写距離とスクリーンサイズ……104
対応解像度一覧……107
仕　様……110
外観図……112
ケーブルカバーの取り付けかた……113
天井用取付けユニット（別売）を使用する際のご注意……114
コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名……116
故障かな？と思ったら……117
インジケータ表示一覧……122
トラブルチェックシート……124
索　引……126
別売品／商標について……128

保証と修理サービス（必ずお読みください）…… 129
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターとビューライトクラブのご案内 … 裏表紙

# 1. 添付品や名称を確認する

## 1-1. 特長

**● 1920 × 1080 の解像度にフル対応**
1920 ドット× 1080 ラインの DLP チップを搭載しており、ハイビジョンをそのままの解像度で投写できます。

**●スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットの省エネ設計**
本機のスタンバイ時の消費電力は 0.5 ワットです。（工場出荷時のスタンバイモードの設定が「省電力」）
外部機器から本機を制御する場合は、スタンバイモードの設定を「省電力」から「標準」に切り替えてください。

**●消費電力を抑えるエコモードを搭載**
オンスクリーンメニューのエコモードを「エコ」に設定すると、使用中の消費電力を抑えることができます。

**● HDMI 入力端子を 2 系統装備し、デジタル映像信号を投写可能**
HDMI 入力端子を 2 系統装備しており、デジタル映像信号を投写することができます。また、HDMI 入力端子は音声信号にも対応しています。
本機の HDMI 入力端子は、HDCP に対応しています。

**● 8 ワット＋ 8 ワットのステレオスピーカ内蔵**
広い会議室や教室で視聴していただけるように、8 ワット＋ 8 ワットのステレオスピーカを内蔵しています。

**●ケーブルカバーを標準添付**
本機にはケーブルカバーを標準添付しています。ケーブルカバーを取り付けると、接続線がかくれてきれいな外観になります。

**●プロジェクター本体やリモコンに日本語表示**
プロジェクター本体の操作ボタン名や接続端子名を日本語で表示し、さらに、日本語表示のリモコンを標準添付しています。

**● Blu-ray™ の映画やゲームの 3D 映像に対応**
本機は、DLP® Link 方式に加え、HDMI 3D 方式に対応しています。
Blu-ray™ の映画やゲームの 3D 映像を投写することができます。
本機で 3D 映像を視聴する際は、市販の 3D メガネ（DLP Link 対応（周波数 144Hz））をお買い求めください。

**●有線 LAN に対応**
LAN ポート（RJ-45）を装備しており有線 LAN に接続してコンピュータから本機を制御できます。

**●便利なユーティリティソフトに対応**
当社で開発したユーティリティソフト（Virtual Remote Tool、PC Control Utility Pro 4/Pro 5）に対応しています。
Virtual Remote Tool、PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用する際は、当社プロジェクターのホームページから各ソフトウェアをダウンロードしてください。

### ●ダイレクトパワーオン／ダイレクトパワーオフ機能

本機には次のような電源を入／切する機能があります。

・ダイレクトパワーオン .....本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。

・ダイレクトパワーオフ .....投写中に AC 電源を切断することができます。
AC 電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

・オートパワーオフ（分）.....設定した時間だけ信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

・オフタイマー（分）.....設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

### ●無断使用を防止するセキュリティ機能

本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。

・セキュリティキーワード.....オンスクリーンメニューでセキュリティキーワードを設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面を表示します。

・盗難防止用ロック.....本機は、ケンジントン・ロックに対応したセキュリティケーブルを接続することができます。

・セキュリティバー.....本機は、一般的なセキュリティケーブル（またはワイヤー）を通す機構を装備しています。

### ●壁色補正

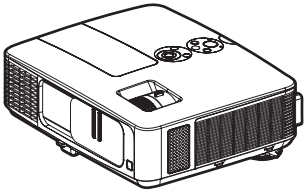
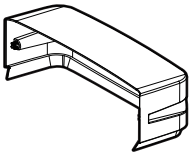
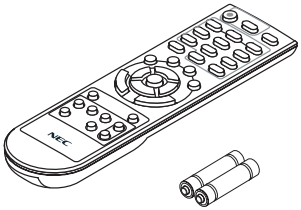
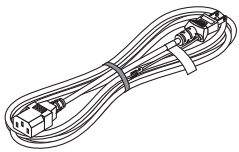
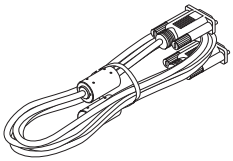
投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いに補正することができます（壁色補正機能）。これにより、スクリーンが設置されていないところでも、見やすい映像を投写することができます。

### ● CRESTRON ROOMVIEW に対応

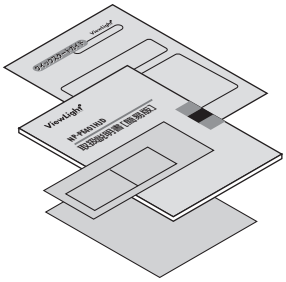
本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピュータから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

# 1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

| | |
|---|---|
|  | **プロジェクター（本機）**<br>コンピュータや DVD プレーヤなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。 |
|  | **ケーブルカバー**<br>ケーブルカバーを取り付けると、接続線がかくれてきれいな外観になります。（113 ページ） |
|  | **リモコン（79TC3061）**<br>本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。<br>ご購入後はじめて使用するときは、添付の単 4 乾電池 2 本をセットしてください。（25 ページ）<br><br>**単 4 乾電池（リモコン用）2 本**<br>添付のリモコンにセットします。 |
|  | **電源コード（アース付き）（79TC5041）**<br>AC100V のコンセントに本機を接続します。<br>日本国内用です。 |
|  | **コンピュータケーブル（ミニ D-Sub 15 ピン）（79TC5061）**<br>コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。（28 ページ） |

次ページに続く

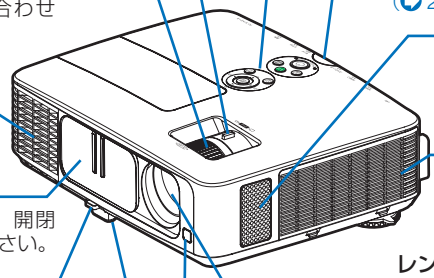
| | |
|---|---|
| | **NEC Projector CD-ROM（7N951941）**<br>PDF（Portable Document Format）形式の取扱説明書［詳細版］（本書）を収録しています。 |
|  | **クイックスタートガイド（7N8N3651）**<br>機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。<br>**取扱説明書［簡易版］（7N8N3921）**<br>安全のために守っていただきたいこと、ランプ交換、保証とサービスなどについて記載しています。<br>**保証書**<br>プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。<br>**ビューライトクラブ申込書**<br>ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。 |

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

# 1-3. 本体各部の名称

## 本体前面



**本体操作部**
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
(21 ページ)

**ズームレバー**
投写した画面の大きさを調整します。
(35 ページ)

**リモコン受光部**
リモコンの信号を受ける部分です。
(26 ページ)

**フォーカスリング**
映像のフォーカスを合わせます。
(35 ページ)

**スピーカ（左）**
音声入力端子から入力された音声を出します。
(39 ページ)

**排気口**
ランプの熱を排気します。

**吸気口／フィルタ**
内部にほこりやゴミが入るのを防止します。
(95、102 ページ)

**レンズカバー**
レンズを保護します。開閉方法は下記をご覧ください。

**レンズ**
ここから映像が投写されます。

**チルトボタン**
チルトボタンを押すとチルトフットを伸縮できます。本機の投写角度を固定したいとことで、チルトボタンから指を離します。
(34 ページ)

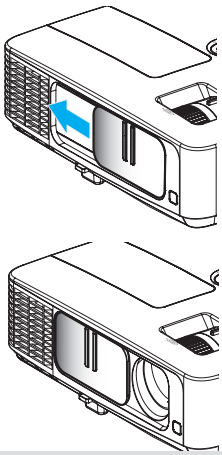
**リモコン受光部**
リモコンの信号を受ける部分です。
(26 ページ)

**チルトフット**
チルトボタンを押すと上下に伸縮できます。
チルトフットを使って投写角度を調整します。
(34 ページ)

### ●レンズカバーの開閉方法

開くには、レンズカバーを左へスライドさせます。

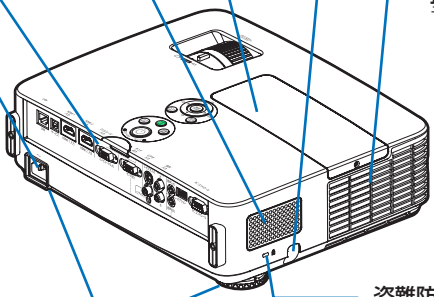
閉じるには、右へスライドさせます。



**注意**

- 本機のレンズカバーの開閉は AV ミュート（画像と音声を消す機能）と連動しています。動作中にレンズカバーを閉じると自動で画像は消えますがランプは点灯しています。この状態のまま約 2 時間経過すると、自動的に電源が切れます。
- レンズカバーを手前に引っ張ったり上下方向に強い力を加えないでください。レンズカバーのスライド機構が破損するおそれがあります。

## 本体背面



**ランプカバー**
ランプ交換のときカバーを外します。
(100 ページ)

**スピーカ（右）**
音声入力端子から入力された音声を出します。
(39 ページ)

**接続端子部**
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。
(22 ページ)

**AC IN 端子**
添付の電源コードを接続します。
(28 ページ)

**リアフット**
投写した映像が水平になっていないとき、右または左にあるチルトフットを回すと、左右の傾きの微調整ができます。リアフットには、リアフット固定用ゴムが付いています。(34 ページ)

**セキュリティバー**
盗難防止用チェーン（またはワイヤー）を取り付けます。
本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

**排気口**
ランプの熱を排気します。

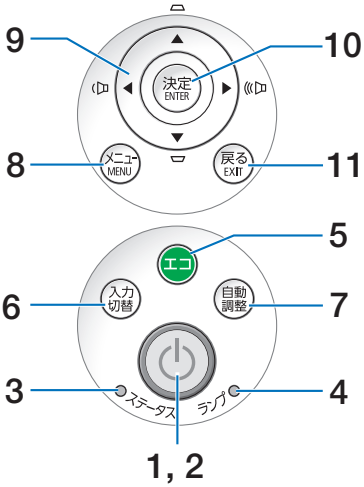
**盗難防止用ロック**
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下記の参考をご覧ください。

参考

- 盗難防止用ロックについて
  盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

  http://www.kensington.com/

## 本体操作部




**1** ⏻ボタン（電源ボタン）
本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。
電源を切る（スタンバイ状態）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度⏻ボタンを押します。

**2** 電源インジケータ
電源が入っているときは青色に点灯します。（29、122 ページ）
電源が切れている（スタンバイ状態）とき、スタンバイモードの設定状態によって次のように光ります。
・省電力：赤色で点灯
・標準：オレンジ色で点灯

**3** ステータスインジケータ
電源が切れている（スタンバイ状態）とき、スタンバイモードの設定状態によって次のように光ります。
・省電力：消灯
・標準：緑色で点灯
本体キーロック中や、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。（122 ページ）

**4** ランプインジケータ
ランプの交換時期がきたときやエコを選択していることをお知らせします。（123 ページ）

**5** エコ ボタン
エコモード選択画面を表示します。（82 ページ）

**6** 入力切替 ボタン
入力切替 ボタンを押すごとに
コンピュータ→ HDMI1 → HDMI2 →ビデオ → S- ビデオ… の順にチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

**7** 自動調整 ボタン
コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（38 ページ）

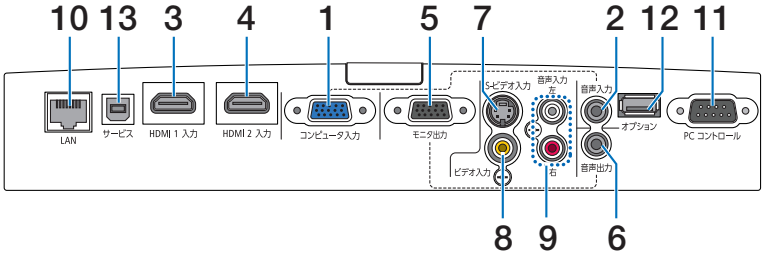
**8** メニュー ボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。（67 ページ）

**9** ▼▲◀▶ ボタン
（音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用）
・オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。（67 ページ）
・オンスクリーンメニューを表示していないときは、◀/▶ボタンで音量の調整（39 ページ）、▼/▲ボタンで上下方向の台形歪みの調整ができます。（36 ページ）

**10** 決定 ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

**11** 戻る ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニュータブにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

# 接続端子部




**1 コンピュータ映像入力端子（ミニ D-Sub 15 ピン）**
コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。
（28、86、91、93 ページ）

**2 コンピュータ音声入力端子（ステレオ・ミニ）**
コンピュータまたは DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。（86、91 ページ）

**3 HDMI 1 入力端子（タイプ A）**
ブルーレイプレーヤ、デジタル放送チューナなどの出力端子と接続します。
（86、92 ページ）

**4 HDMI 2 入力端子（タイプ A）**
ブルーレイプレーヤ、デジタル放送チューナなどの出力端子と接続します。
（86、92 ページ）

**5 モニタ出力端子（ミニ D-Sub 15 ピン）**
コンピュータ映像入力端子の映像信号を出力します。（89 ページ）

**6 音声出力端子（ステレオ・ミニ）**
本機から投写されている映像の音声信号を出力します。（89 ページ）
音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。

**7 S- ビデオ映像入力端子（ミニ DIN-4 ピン）**
ビデオデッキや DVD プレーヤなどの S 映像出力端子と接続します。（90、93 ページ）

**8 ビデオ映像入力端子（RCA- フォノ）**
ビデオデッキや DVD プレーヤなどの映像出力端子と接続します。（90、93 ページ）

**9 S- ビデオ／ビデオ音声入力端子（RCA- フォノ）**
ビデオデッキや DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続します。（90 ページ）

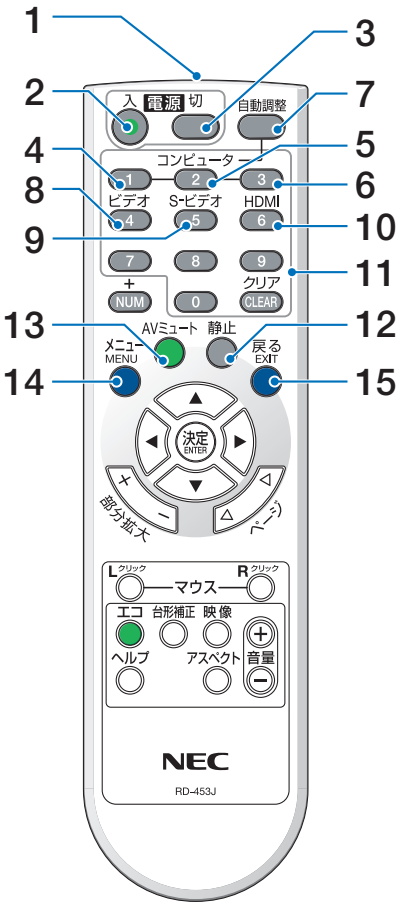
**10 LAN ポート（LAN）（RJ-45）**
本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバ機能を利用し、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。（94 ページ）

**11 PC コントロール端子（D-Sub 9 ピン）**
コンピュータで本機を操作するときに使用します。

**12 オプション端子**
本機に対応したオプション機器の端子と接続します。

**13 サービスマン専用端子**
お客様は使用できません。

# 1-4. リモコン各部の名称




**1 リモコン送信部**
赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

**2 電源(入)ボタン**
スタンバイ時（電源インジケータが赤色※に点灯）に本機の電源を入れます。（※スタンバイモードが「省電力」に設定されているとき）

**3 電源(切)ボタン**
一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(切)ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

**4 (コンピュータ1)ボタン**
コンピュータ入力（またはコンポーネント）を選択します。

**5 (コンピュータ2)ボタン**
（本機では使用できません）

**6 (コンピュータ3)ボタン**
（本機では使用できません）

**7 (自動調整)ボタン**
コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(38 ページ)

**8 (ビデオ)ボタン**
ビデオ入力を選択します。

**9 (S-ビデオ)ボタン**
S- ビデオ入力を選択します。

**10 (HDMI)ボタン**
HDMI1 または HDMI2 入力を選択します。押すごとに HDMI1 入力と HDMI2 入力が切り替わります。

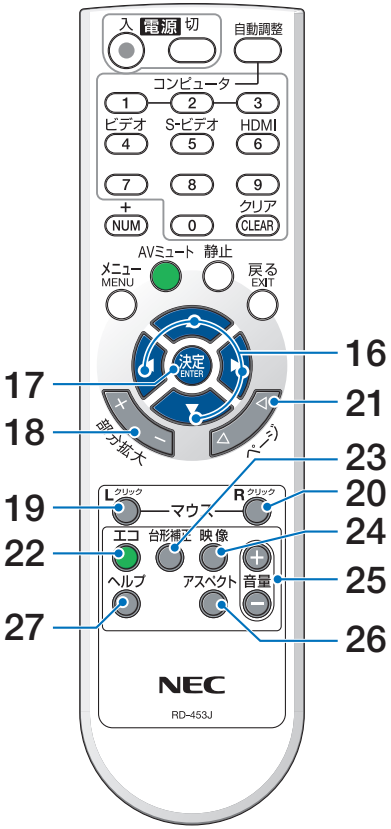
**11 (NUM)ボタン、数字 (0)〜(9)) 入力ボタン、(CLEAR(クリア))ボタン**
本機にセキュリティキーワードを設定するときに使用します。(44 ページ)

**12 (静止)ボタン**
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(42 ページ)

**13 (AVミュート)ボタン**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(42 ページ)

**14 (メニュー)ボタン**
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(67 ページ)

**15 (戻る)ボタン**
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニュータブにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。




**16** (▼▲◀▶) **ボタン**
- オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大 +/−)ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。
- コンピュータに別売のマウスレシーバを接続しているときは、コンピュータのマウスとして動作します。
(67, 43, 55 ページ)

**17** (決定) **ボタン**
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

**18** (部分拡大 +/−) **ボタン**
画面の拡大・縮小をします。(43 ページ)

**19** (マウス L クリック) **ボタン**
別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使用します。マウスの左ボタンの動作をします。(56 ページ)

**20** (マウス R クリック) **ボタン**
別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使用します。マウスの右ボタンの動作をします。(56 ページ)

**21** (ページ ▽/△) **ボタン**
別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使用します。
画面のスクロールや PowerPoint の画面切り替えなどに使用します。(56 ページ)

**22** (エコ) **ボタン**
エコモード選択画面を表示します。
(82 ページ)

**23** (台形補正) **ボタン**
台形補正調整画面を表示します。
(36 ページ)

**24** (映像) **ボタン**
オンスクリーンメニューの映像調整にあるピクチャーモード選択画面を表示します。
(71 ページ)

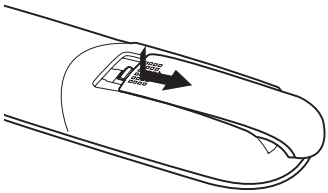
**25** (音量 +/−) **ボタン**
内蔵スピーカの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

**26** (アスペクト) **ボタン**
アスペクト調整項目を表示します。
(74 ページ)

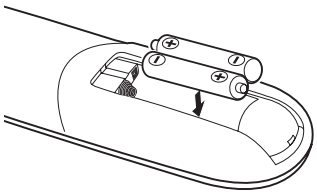
**27** (ヘルプ) **ボタン**
情報画面を表示します。(84 ページ)

## ●電池の入れかた

**1** リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

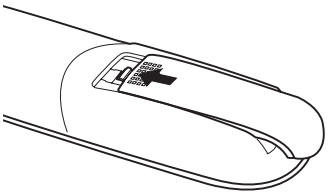


**2** ケース内部に表示している＋、－の向きに合わせて単 4 乾電池をセットする。



**3** もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがありますので、スライドさせて閉めてください。



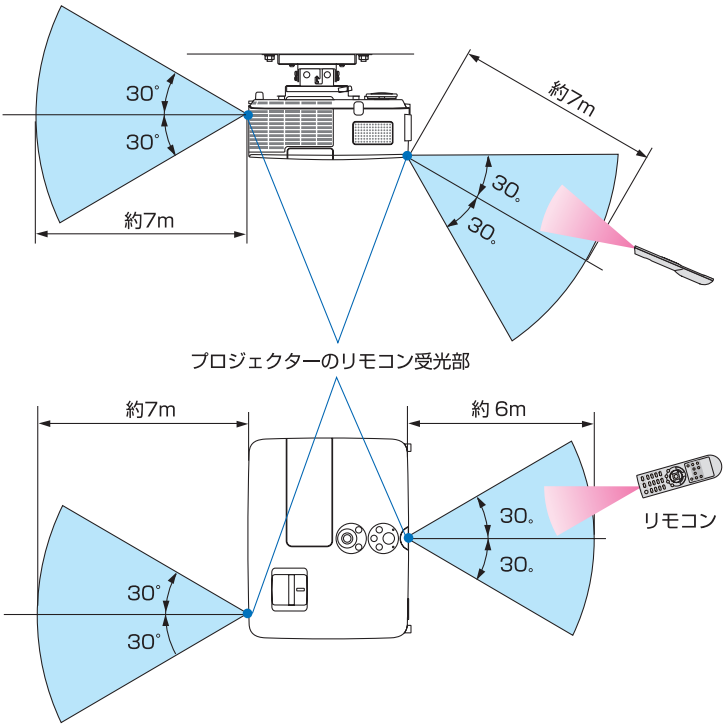
注意

- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 4 乾電池をお買い求めください。

## ●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】




（注）有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

## ●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。

# 2. 映像を投写する（基本操作）

## 2-1. 映像を投写する流れ

**ステップ 1**
コンピュータと接続する／電源コードを接続する（次ページ）

↓

**ステップ 2**
本機の電源を入れる（29 ページ）

↓

**ステップ 3**
入力信号を選択する（31 ページ）

↓

**ステップ 4**
投写画面の位置と大きさを調整する（33 ページ）
台形歪みを調整する（36 ページ）

↓

**ステップ 5**
映像や音声を調整する
・画質を調整する場合（38 ページ）
・本機の音量を調整する場合（39 ページ）

↓

**ステップ 6**
プレゼンテーションを行う

↓

**ステップ 7**
本機の電源を切る（40 ページ）

↓

**ステップ 8**
あとかたづけ（41 ページ）

# 2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する

## コンピュータと接続する

ここでは、コンピュータとの基本的な接続を説明します。他の接続は「5. 機器と接続する」86 ページをご覧ください。

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を、添付のコンピュータケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

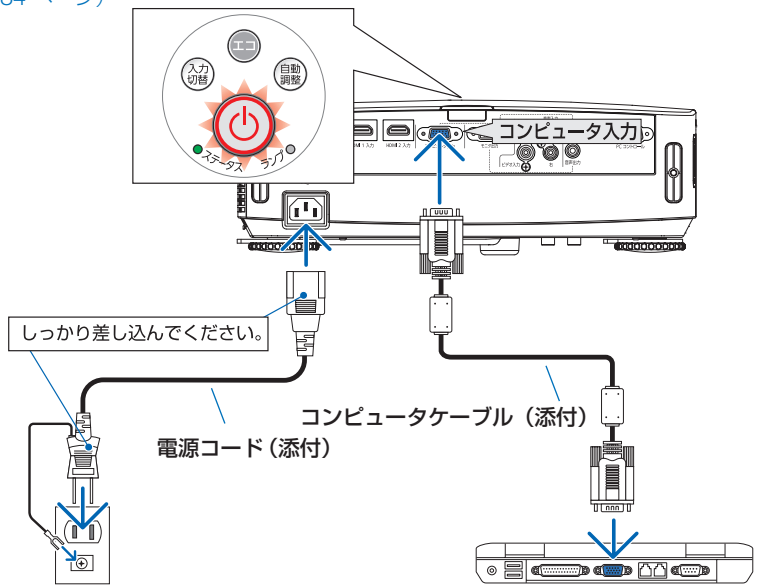
## 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | 機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。 |

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータが数秒点滅後赤色※に点灯します（スタンバイ状態）。

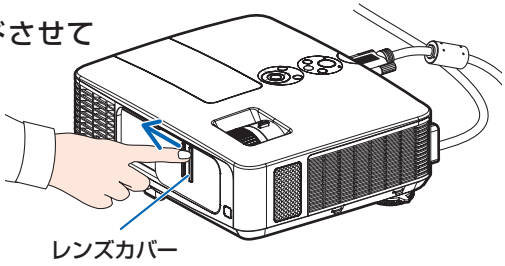
※ スタンバイモードが「省電力」に設定されているときのインジケータ表示です。
（84 ページ）




| | |
|---|---|
| ⚠注意 | 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。 |

# 2-3. 本機の電源を入れる

**1** レンズカバーを左へスライドさせて開く。

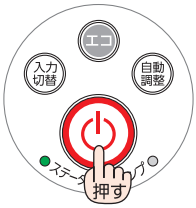



**2** ⏻ボタンを押す。

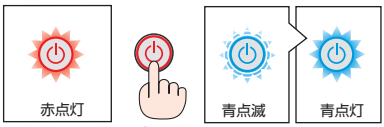
ステータスインジケータが消灯し、しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源（入）ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、青色の画面が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを動かして画面のフォーカスを合わせてください。（35 ページ）

本体　リモコン




スタンバイ状態　準備中　オン状態



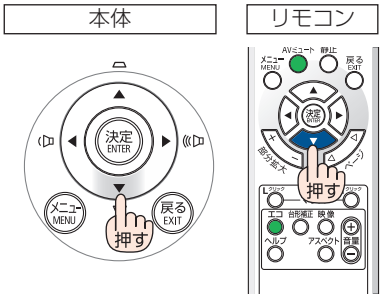

参考

- 「セキュリティキーワードを入力してください」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（44 ページ）

- ご購入後はじめて電源を入れたときは Language 画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。

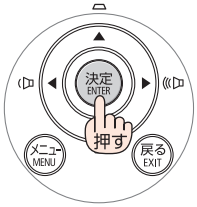
❶（▼▲◀▶）ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。

本体　リモコン

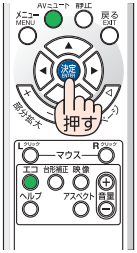


❷（決定）ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。

本体




リモコン




**注意**

- 投写中に、電源コードを抜いた（ダイレクトパワーオフ）あと、再び電源コードを接続する際は、故障の原因となりますので必ず約 1 秒以上の間隔をあけてください。
- 次のような場合は、⏻ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ランプの交換時間（目安）※がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。※保証時間ではありません。
  - ステータスインジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（85 ページ）
  - 電源を入れてもランプが点灯せず、ステータスインジケータが点滅（6 回周期の点滅）している場合は、1 分以上待って再度電源を入れてください。
- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは⏻ボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れます）。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3 ～ 5 分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- 電源を入れたとき、ランプが明るくなるまで時間がかかる場合があります。
- ランプの消灯直後に電源を入れたときやランプの温度が高いときは、ファンのみが動作後、しばらくたってからスクリーンに映像が投写されます。

# 2-4. 入力信号を選択する

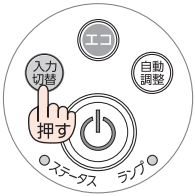
## 投写する信号を自動検出する

**1 本機に接続しているコンピュータや DVD プレーヤなどの電源を入れる。**

DVD プレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

**2 入力切替 ボタンを押す。**

入力切替 ボタンを押すごとにコンピュータ → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ → S- ビデオの順にチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。



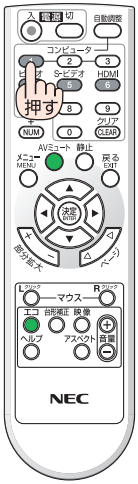

## リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

**1 本機に接続しているコンピュータや DVD プレーヤなどの電源を入れる。**

DVD プレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

**2 リモコンの コンピュータ1 、 ビデオ 、 S-ビデオ 、 HDMI 、ボタンを押す。**

HDMI1 と HDMI2 は HDMI ボタンを押すごとに切り替わります。



参考

- 信号が入力されていないときは、青い画面が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
  DVD プレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合
  ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
  - Windows の場合はファンクションキーを使います。
    Fn キーを押したまま（▁/▭）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。
    通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
  - Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】
※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

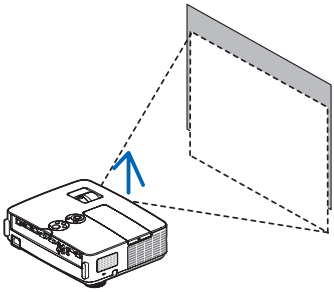
| | |
|---|---|
| Fn + F2 | MSI |
| Fn + F3 | NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex |
| Fn + F4 | HP、Gateway |
| Fn + F5 | ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC |
| Fn + F7 | SONY、IBM、Lenovo、HITACHI |
| Fn + F8 | DELL、ASUS、EPSON、HITACHI |
| Fn + F10 | FUJITSU |

- それでも投写しない場合は本体の（入力切替）ボタンをもう一度押してください。
（31 ページ）

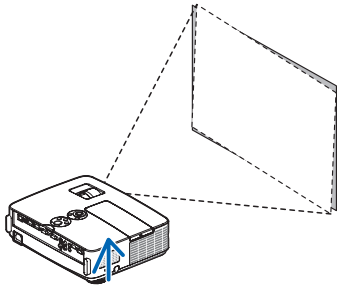
# 2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフット、ズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

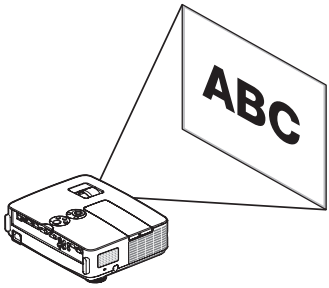
投写角度（投写画面の高低）の調整【チルトフット】（次ページ）



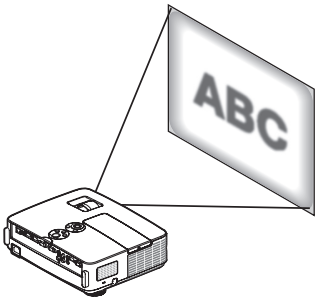
左右の傾きの調整【リアフット】（次ページ）



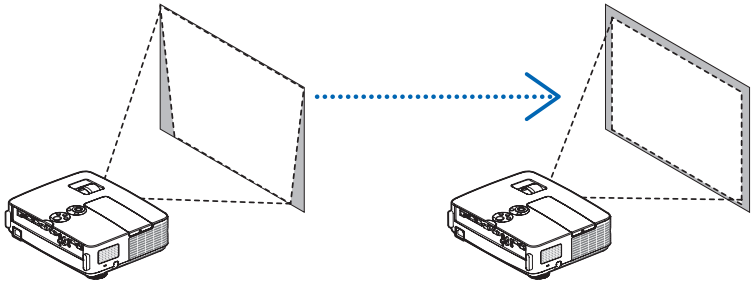
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】（35 ページ）




投写画面のフォーカス調整【フォーカスリング】（35 ページ）




投写画面の台形歪み補正【台形補正】（36 ページ）



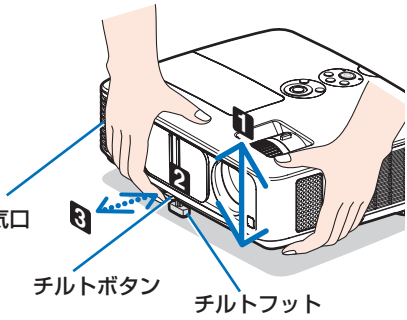
※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

## 投写角度（投写画面の高低）の調整（チルトフット）

**1** **本機の前部を持ち上げスクリーンに合わせる。**

注意

- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。チルトフットの調整の際はご注意ください。




**2** **チルトボタンを押す。**

チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。

**3** **角度を固定したいところでチルトボタンから指を離す。**

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

- チルトフットは、最大 20mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大 5° 傾けることができます。

注意

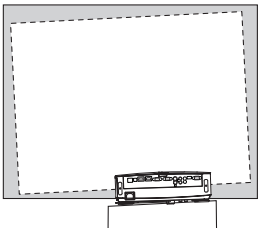
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

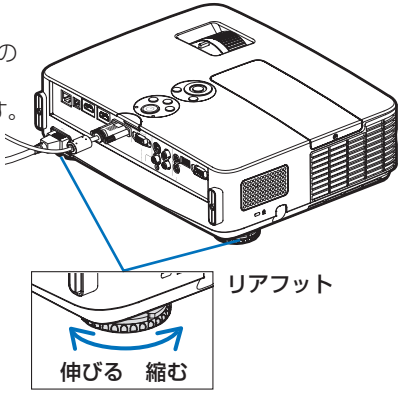
## 投写画面の左右の傾き調整（リアフット）

**1** **右または左のリアフットを回す。**

リアフットを回すと、リアフットが伸縮し、左右の傾きを調整できます。

- リアフットは、最大 12mm 伸ばすことができます。



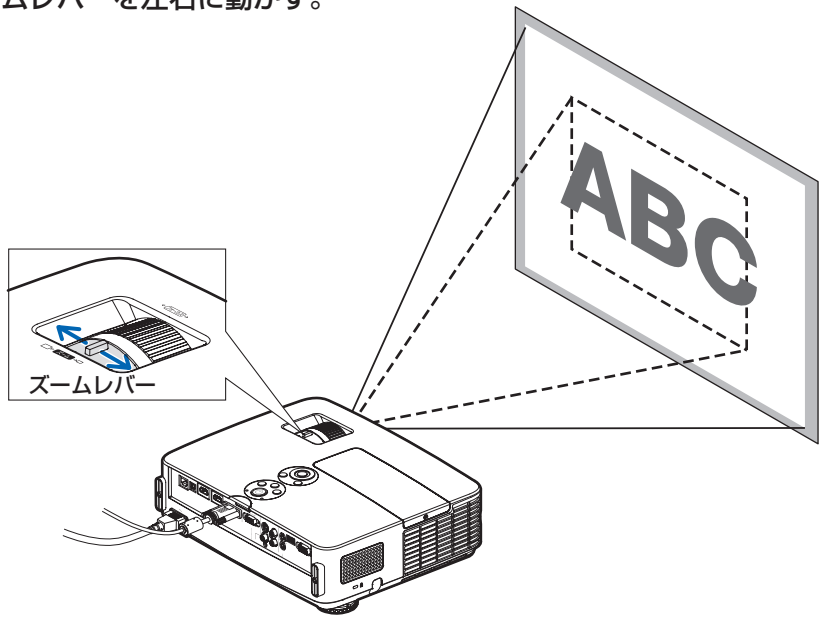



注意

- リアフットは 12mm 以上伸ばさないでください。12mm を超えるとリアフットの取り付け部分が不安定になり、リアフットが本体から外れます。
- プロジェクターの使用が終わったら、リアフットの長さをもとに戻してください。
- リアフットには、リアフット固定用ゴムが付いています。リアフット固定用ゴムを外すと、リアフットをその分縮めることができます。リアフットの高さをもとに戻す場合はリアフット固定用ゴムを再び取り付けてください。

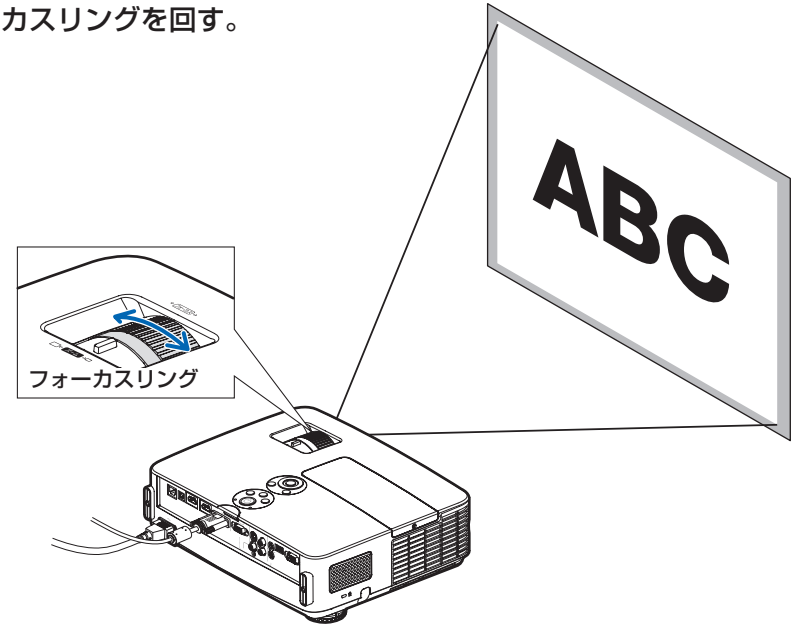
## 投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

**1** ズームレバーを左右に動かす。




## 投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

**1** フォーカスリングを回す。



# 2-6. 台形歪みを調整する

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写されないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むことになります。ここでは、投写画面の台形歪みを調整する手順を説明します。

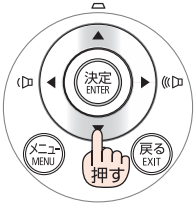
**注意**

- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては調整範囲が狭くなる場合があります。

## 本体の操作ボタンで調整する

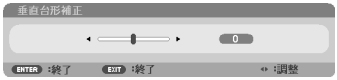
**1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の(▼/▲)ボタンを押す。**

垂直台形補正調整バーが表示されます。




**2 (▼/▲)ボタンを押して、台形歪みを調整する。**

投写画面の左右が垂直になるように調整します。




**3 (決定)ボタンを押す。**

垂直台形補正調整バーが消え、台形補正が決定されます。

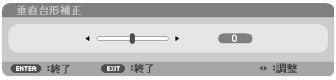
**参考**

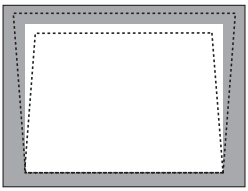
- 投写画面にオンスクリーンメニューが表示されている場合は本体の操作ボタンによる台形補正はできません。この場合は、(メニュー)ボタンを押してオンスクリーンメニューを閉じてから操作を行います。
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのスクリーン調整→全般→垂直台形補正からも行えます。(74 ページ)

## リモコンを使って調整する

**1** 台形補正 **ボタンを押す。**
垂直台形補正調整バーが表示されます。

**2** ◀/▶ **ボタンを押して、台形歪みを調整する。**
投写画面の左右が垂直になるように調整します。



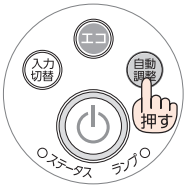
**3** 戻る **ボタンを押す。**
垂直台形補正調整バーが消えます。

# 2-7. コンピュータの映像を自動調整する

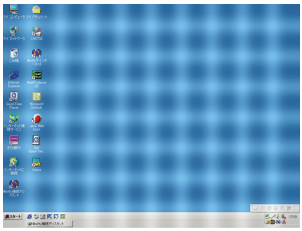
コンピュータの信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

**1** **(自動調整) ボタンを押す。**
しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

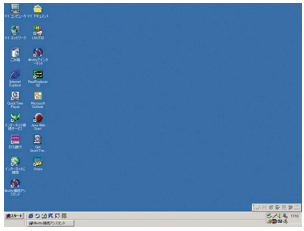
本体




リモコン



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

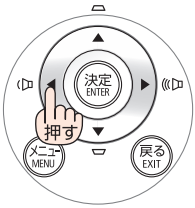
参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平位置、垂直位置で画面の調整を行ってください。(78 ページ)
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、120 ページを参照してください。

# 2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

## 本体の操作ボタンで調整する




**1** **オンスクリーンメニューが表示されていないときに、◀/▶ボタンを押す。**

音量調整バーが表示されます。

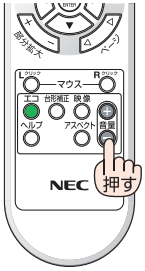
))) 側…音量が大きくなります。

) 側…音量が小さくなります。

注意

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、部分拡大＋ボタンで画面を拡大しているときは◀/▶ボタンを使った音量調整はできません。

## リモコンを使って調整する




**1** **リモコンの 音量 +/− ボタンを押す。**

音量調整バーが表示されます。

＋側…音量が大きくなります。

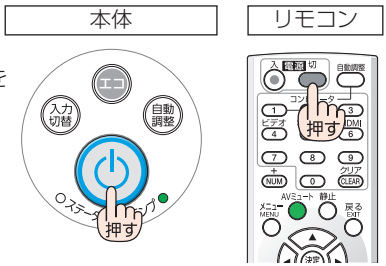
－側…音量が小さくなります。

# 2-9. 本機の電源を切る

**1** ⏻ **ボタンを押す。**

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

・ リモコンで操作する場合は、電源 (切) ボタンを押します。



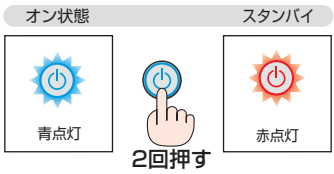

**2** **もう一度** ⏻ **ボタンを押す。**

ランプが消灯し、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、電源インジケータが赤色で点灯します。(スタンバイモードが「省電力」に設定されているとき)

・ リモコンで操作する場合は、もう一度電源 (切) ボタンを押します。

・ 電源を切らない場合は、(◀/▶) ボタンで「いいえ」を選択し (決定) ボタンを押します。




**注意** 投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

**注意**

- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は、電源を切ることができません。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

# 2-10. あとかたづけ

**1** 電源コードを取り外す。

**2** 各種信号ケーブルを取り外す。

**3** チルトフットおよびリアフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- レンズ面には手を触れないでください。

**4** レンズカバーを右へスライドさせて閉じる。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | 本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。 |

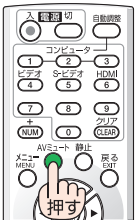
# 3. 便利な機能

## 3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）

**1 リモコンの（AVミュート）ボタンを押す。**

投写されている映像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

・ もう一度（AVミュート）ボタンを押すと、映像と音声が出ます。

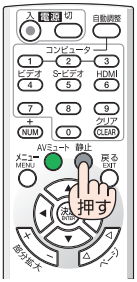



## 3-2. 動画を静止画にする（静止）

**1 リモコンの（静止）ボタンを押す。**

DVD プレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

・ もう一度（静止）ボタンを押すと、動画に戻ります。



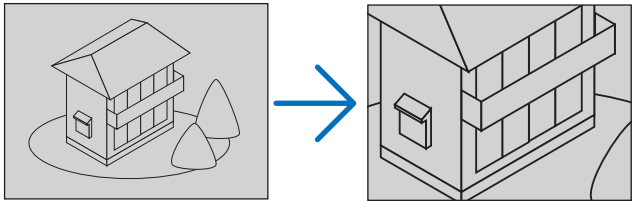

参考

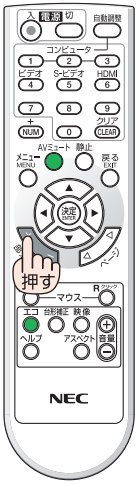
● （静止）ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像（静止画）を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

# 3-3. 映像の一部を拡大する ( 部分拡大 )

**1** **リモコンの〔部分拡大＋〕ボタンを押す。**

押すごとに映像が拡大します。






**2** **部分拡大調整バーが表示されているときに〔▼▲◀▶〕ボタンを押す。**

拡大した映像の表示領域が移動します。

**3** **〔部分拡大－〕ボタンを押す。**

押すごとに映像が縮小します。

・ もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

# 3-4. セキュリティを設定して無断使用を防止する

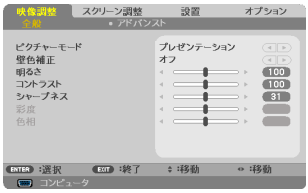
セキュリティキーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

**重要**

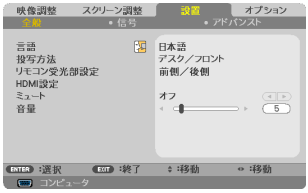
- セキュリティは、リセットでは解除されません。設定したセキュリティキーワードを忘れないように十分ご注意ください。
- セキュリティキーワード入力画面において、間違ったセキュリティキーワードを 3 回連続して入力すると、本機の電源が自動的に切れ、スタンバイ状態になります。
- セキュリティキーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。

## セキュリティを有効にする

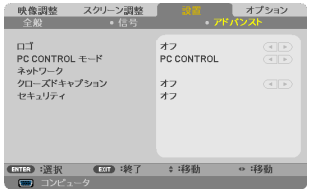
**1** （メニュー）**ボタンを押す。**
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。




**2** （▶）**ボタンを 2 回押して「設置」にカーソルを合わせる。**
設置メニューが表示されます。




**3** （▼）**ボタンを 1 回押し、**（▶）**ボタンを 2 回押して「アドバンスト」にカーソルを合わる。**
アドバンストメニューが表示されます。



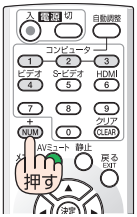
**4** （▼）ボタンを数回押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、（決定）ボタンを押す。

**5** リモコンの（NUM）ボタン、数字入力ボタン、（CLEAR（クリア））ボタンを使って4桁のセキュリティキーワードを入力する。

**注意**
- 工場出荷時には「1234」が設定されています。はじめてセキュリティキーワードを入力するときは「1234」と入力してください。

・**数字の入力**：（NUM）ボタンを押しながら、数字入力ボタンを押します。
・**直前に入力した数字の削除**：
（NUM）ボタンを押しながら、
（CLEAR（クリア））ボタンを押します。

【セキュリティキーワード入力画面】




**【操作例】**

① **（NUM）ボタンを押しながら、（1）ボタンを押します。**
セキュリティキーワード入力画面に「*　」と表示されます。

② **（NUM）ボタンを押しながら、（2）ボタンを押します。**
セキュリティキーワード入力画面に「**　」と表示されます。

③ **（NUM）ボタンを押しながら、（3）ボタンを押します。**
セキュリティキーワード入力画面に「***　」と表示されます。

④ **（NUM）ボタンを押しながら、（4）ボタンを押します。**
セキュリティキーワード入力画面に「****」と表示されます。

**6** **セキュリティキーワードを入力したら（決定）ボタンを押す。**

セキュリティキーワードが設定され、セキュリティメニューが表示されます。

**7** **（メニュー）ボタンを押す。**
セキュリティメニューが消えます。

## セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

**1** **⏻ボタンを押す。**

・リモコンで操作する場合は、電源(入)ボタンを押します。

本機の電源が入り、セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

**2** **リモコンの(NUM)ボタン、数字入力ボタン、(CLEAR(クリア))ボタンを使って4桁のセキュリティキーワードを入力する。**

・**数字の入力：**(NUM)ボタンを押しながら、数字入力ボタンを押します。

・**直前に入力した数字の削除：**(NUM)ボタンを押しながら、(CLEAR(クリア))ボタンを押します。

・入力の操作は前ページの【操作例】を参考にしてください。

**3** **セキュリティキーワードを入力したら(決定)ボタンを押す。**

セキュリティロックが一時的に解除され、画面が投写されます。

## セキュリティを無効にする

**1** **(メニュー)ボタンを押す。**

オンスクリーンメニュー画面が表示されます。

**2** **(▶)ボタンを2回押して「設置」にカーソルを合わせる。**

設置メニューが表示されます。

**3** **(▼)ボタンを1回押し、(▶)ボタンを2回押して「アドバンスト」にカーソルを合わせる。**

アドバンストメニューが表示されます。

**4** **(▼)ボタンを数回押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。**

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

**5** **リモコンの(NUM)ボタン、数字入力ボタン、(CLEAR(クリア))ボタンを使って4桁のセキュリティキーワードを入力する。**

・数字の入力..... (NUM)ボタンを押しながら、数字入力ボタンを押します。

・直前に入力した数字の削除..... (NUM)ボタンを押しながら、(CLEAR(クリア))ボタンを押します。

・入力の操作は前ページの【操作例】を参考にしてください。

**6** セキュリティキーワードを入力したら(決定)ボタンを押す。
セキュリティメニューが表示されます。

**7** 「セキュリティ」にカーソルが合っていることを確認し、(決定)ボタンを押す。

**8** (▲)ボタンを押して「オフ」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
セキュリティメニューに戻ります。

**9** (メニュー)ボタンを押す。
セキュリティメニューが消えます。

## セキュリティキーワードを変更する

**1** 前ページの手順 **1**～**6** と同じ操作を行う。
セキュリティメニューが表示されます。

**2** (▼)ボタンを数回押して「セキュリティキーワード変更」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

**3** リモコンの(NUM)ボタン、数字入力ボタン、(CLEAR(クリア))ボタンを使って現在設定している 4 桁のセキュリティキーワードを入力する。
・数字の入力..... (NUM)ボタンを押しながら、数字入力ボタンを押します。
・直前に入力した数字の削除..... (NUM)ボタンを押しながら、(CLEAR(クリア))ボタンを押します。
・入力の操作は 45 ページを参考にしてください。

**4** セキュリティキーワードを入力したら(決定)ボタンを押す。
再びセキュリティキーワード入力画面が表示され、「新しいセキュリティキーワードを入力してください」と表示されます。

**5** 手順**3**と同様な操作をし、新しいセキュリティキーワード（4 桁）を入力し、(決定)ボタンを押す。
再びセキュリティキーワード入力画面が表示され、「新しいセキュリティキーワードを再入力してください」と表示されます。

**6** 手順**3**と同様な操作をし、もう一度新しいセキュリティキーワード（4 桁）を入力し、(決定)ボタンを押す。
セキュリティキーワードが変更され、セキュリティメニューに戻ります。

**7** (メニュー)ボタンを押す。
セキュリティメニューが消えます。

## セキュリティキーワードを一時的に解除する時間（月／日／時間）を設定する（セキュリティタイマー）

**1** 46 ページ**の手順 1～6と同じ操作を行う。**
セキュリティメニューが表示されます。

**2** **（▼）ボタンを数回押して「セキュリティタイマー」にカーソルを合わせ、（決定）ボタンを押す。**
セキュリティタイマーメニューが表示されます。

**3** **次にセキュリティキーワード入力画面を表示する時間（月／日／時間）を設定し、（決定）ボタンを押す。**
設定した時間が経過すると、セキュリティキーワード入力画面を表示します。

注意
- セキュリティタイマーは、本機の電源を入れ直すと再スタートします。

# 3-5. コンピュータケーブルを使って本機を操作する（Virtual Remote Tool）

本機は、当社のユーティリティソフト Virtual Remote Tool が使用できます。
Virtual Remote Tool は、当社プロジェクターのサポートページからダウンロードしてください。
Virtual Remote Tool を使用すると、コンピュータの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウインドウまたはツールバー）を表示し、コンピュータケーブルを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入／切や信号切り替えなどの操作ができます。

**Virtual Remote 画面**

リモコンウインドウ

● **主な制御機能**
- 電源の入／切
- 入力信号切替
- 映像・音声のミュート
- 投写中の動画を静止する

その他、コンピュータの画面上でのリモコン操作

ツールバー

ここでは、Windows 7 で Virtual Remote Tool を使用するまでの流れを説明します。
Virtual Remote Tool の詳しい操作については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。
（54 ページ）

**ステップ①：Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする**
（50 ページ）

**ステップ②：プロジェクターとコンピュータを接続する**（52 ページ）

**ステップ③：Virtual Remote Tool を起動する**（53 ページ）

| | |
|---|---|
| 対応 OS | Windows 8, Windows 8 Pro, Windows 8 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic, Windows 7 Home Premium, Windows 7 Professional, Windows 7 Ultimate, Windows 7 Enterprise<br>Windows Vista Home Basic, Windows Vista Home Premium, Windows Vista Business, Windows Vista Ultimate, Windows Vista Enterprise<br>Windows XP HomeEdition<br>Windows XP Professional |

※ Windows 8 および Windows XP において Virtual Remote Tool を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

**注意**

- 信号選択で「コンピュータ」を選択しているときは、コンピュータの画面とともにVirtual Remote 画面も表示されます。
- Virtual Remote Tool を使用するときは、添付のコンピュータケーブルを使って、コンピュータ 映像入力端子とコンピュータの映像出力端子を直接接続してください。市販のコンピュータケーブルを使用したりスイッチャなどの機器を介すると、通信が正常に行えないことがあります。
- 接続するコンピュータの仕様、およびグラフィックアダプタやドライバのバージョンによっては動作しない場合があります。

**参考**

- 本機のコンピュータ映像入力端子は、プロジェクターやディスプレイとコンピュータ間で各種設定に関する情報を通信する際に用いられる国際規格「DDC/CI」に対応しています。
- Virtual Remote Tool は、有線 LAN およびシリアル接続での制御も可能です。
- ただし、本機は Virtual Remote Tool の LAN 自動検索機能には対応していません。接続するには手動で IP アドレスを登録してください。

## ●ステップ①：Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする

**注意**

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

### 1 コンピュータをインターネットに接続し、当社プロジェクターのサポートページを表示する。

・ 次の URL のホームページを表示してください。
URL: http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html

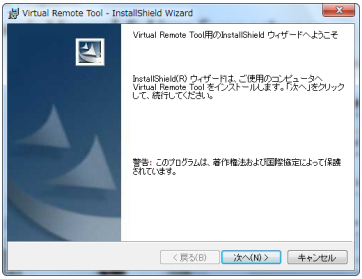
### 2 「ダウンロードソフト」の中から「Virtual Remote Tool」をダウンロードする。

・ コンピュータの任意のフォルダに「VRTxxx.exe」ファイルを保存してください。
ソフトウェアのバージョンによってファイル名が異なります。

### 3 ダウンロードした「VRTxxx.exe」をダブルクリックする。

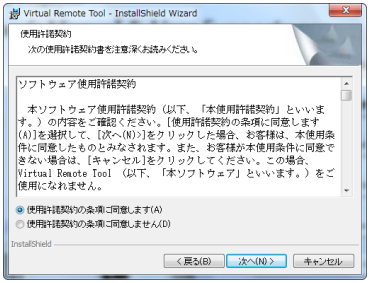
インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



**4** 「次へ (N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください




**5** 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」をクリックする。

・以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

**注意**

● インストール先のフォルダを選択する画面で「デスクトップにショートカットを作成する (D)」をクリックしてチェックマークを外した場合、ショートカットは表示されません。

**参考**

### ● Virtual Remote Tool のアンインストール方法

**準備**：アンインストールの前に、Virtual Remote Tool を終了してください。
アンインストールの際は、Windows 8/Windows 7/Windows Vista は「管理者」権限、Windows XP は「コンピュータの管理者」権限で行ってください。

**◆ Windows 7/Windows Vista の場合**

**1** 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。

**2** 「プログラム」の下の「プログラムのアンインストール」をクリックする。
プログラムと機能画面が表示されます。

**3** 一覧からアンインストールしたいプログラムをクリックする。

**4** 「アンインストールと変更」または「アンインストール」をクリックする。

・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行 (C)」ボタンをクリックします。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

**◆ Windows XP の場合**

**1** 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。

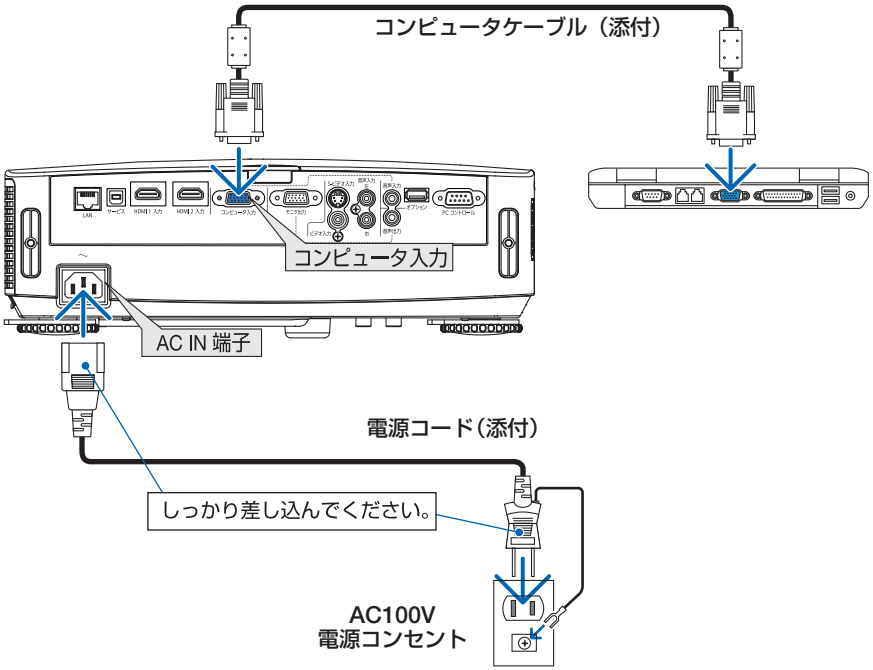
**2** 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする。
プログラムの追加と削除画面が表示されます。

**3** 一覧からアンインストールしたいプログラムをクリックし、「削除」をクリックする。
以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

## ●ステップ②：プロジェクターとコンピュータを接続する

**1** プロジェクターのコンピュータ映像入力端子とコンピュータのディスプレイ出力端子を添付のコンピュータケーブルで接続する。

**2** プロジェクターの AC IN 端子と AC100V のコンセントを添付の電源コードで接続する。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。



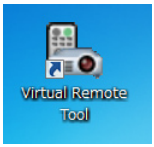

参考

- Virtual Remote Tool を最初に起動すると、かんたんセットアップ画面で機器の接続をガイドします。
- Virtual Remote Tool では、コンピュータ映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。（116 ページ）

## ●ステップ③：Virtual Remote Tool を起動する

### ◆ ショートカットアイコンから起動する

Windows のデスクトップ上のショートカットアイコン をダブルクリックする。



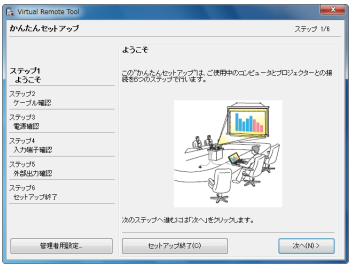

### ◆ スタートメニューから起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool」の順にクリックする。

#### 起動すると……

最初に起動したときは、かんたんセットアップ画面が表示されます。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。




かんたんセットアップを終了すると、Virtual Remote 画面が表示されます。

**注意**

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」に設定していると、プロジェクターがスタンバイ状態のときコンピュータケーブル、シリアルケーブル、および有線 LAN を介してプロジェクターの制御ができません。

**参考**

- かんたんセットアップ画面を表示せずに Virtual Remote 画面を表示することができます。
  かんたんセットアップ「ステップ 6」画面の「□次回からかんたんセットアップを使用しない。」をクリックし、チェックマークを付けてください。

次ページに続く

### ● Virtual Remote Tool の終了方法

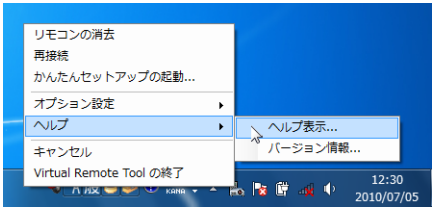
1 タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコン をクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。

2 「Virtual Remote Tool の終了」をクリックする。
Virtual Remote Tool が終了します。

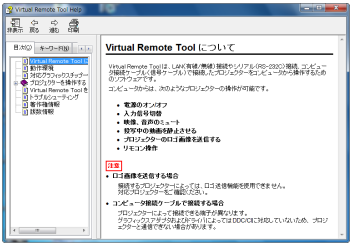
### ● Virtual Remote Tool のヘルプ表示方法

#### ◆タスクトレイから表示する

1 Virtual Remote Tool が起動しているときに、タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコン をクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。




2 「ヘルプ」→「ヘルプ表示」をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。




#### ◆スタートメニューから表示する

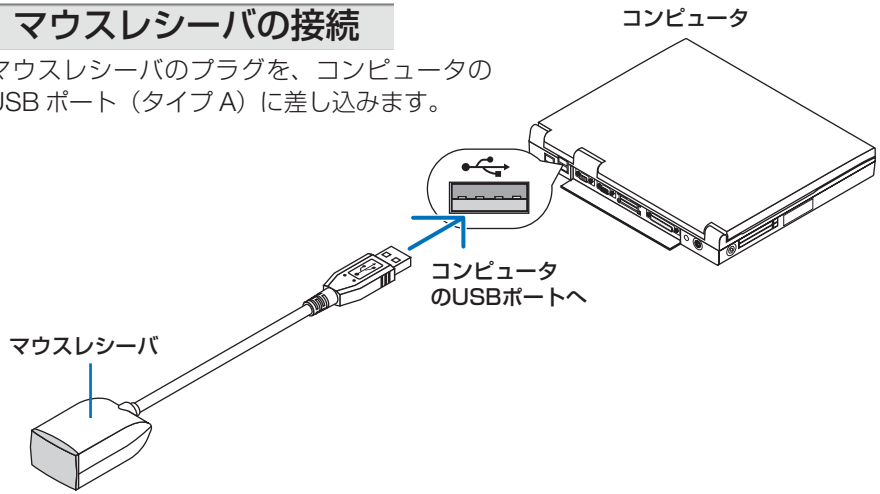
1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

# 3-6. 別売のマウスレシーバを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う

別売のマウスレシーバ（形名 NP01MR）をコンピュータに接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行うことができます。

## マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、コンピュータのUSB ポート（タイプ A）に差し込みます。




**注意**

- マウスレシーバは、次の OS において使用できます。
  Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000
  Mac OS10.0.0 以降
- Windows XP の SP2 より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの〈ページ ▽/△〉ボタンは働きません。
- コンピュータの USB ポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピュータがマウスレシーバを正しく認識できないことがあります。

## リモコンを使ったコンピュータのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- (ページ ▽/△)ボタン ..... 画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
- (▼▲◀▶)ボタン ..... マウスポインタを移動します。
- (マウス L クリック)ボタン..... マウスの左クリックの働きをします。
- (マウス R クリック)ボタン..... マウスの右クリックの働きをします。

**注意**

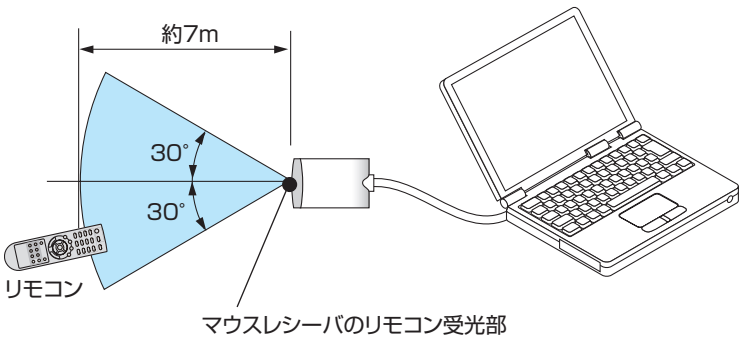
- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに(▼▲◀▶)ボタンでコンピュータのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの(ページ ▽/△)ボタンは働きません。

**参考**

- マウスポインタの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピュータのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンでドラッグ・アンド・ドロップを行えます。
  1. マウスポインタでアイコンを選択する。
  2. (マウス L クリック)(または(マウス R クリック))ボタンを 2 ～ 3 秒以上押し続けて離す。ドラッグモードになります。
  3. (▼▲◀▶)ボタンを押す。選択したアイコンが移動します。
  4. (マウス L クリック)(または(マウス R クリック))ボタンを押す。アイコンがドラッグ・アンド・ドロップされます。
     - ドラッグモードを解除するには、(マウス R クリック)(または(マウス L クリック))ボタンを押します。

## リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。



# 3-7. 3D 映像を投写する

本機は、市販の液晶シャッタ眼鏡を使って、3D 映像を視聴することができます。

## ⚠注意

**●健康に関するご注意**

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（DVD、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および液晶シャッタ眼鏡に添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。

健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

- 3D 映像を視聴する以外の目的で、液晶シャッタ眼鏡を使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。

## 液晶シャッタ眼鏡

市販の 3D メガネ（DLP Link 対応（周波数 144Hz））をお買い求めください。

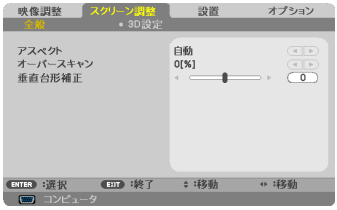
## 本機で 3D 映像を視聴する手順

**1 本機と映像機器を接続する。**

**2 本機の電源を入れ、オンスクリーンメニューを表示して、3D モードを「オン」にする。**

① (メニュー)ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。

② (▶)ボタンを 1 回押して「スクリーン調整」にカーソルを合わせる。



③ (▼)ボタンを 1 回押し、(▶)ボタンを 1 回押して「3D 設定」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
3D 設定画面が表示されます。

④「3D」にカーソルが合っていることを確認し、(決定)ボタンを押す。

⑤ (▼)ボタンで「オン」を選択し、(決定)ボタンを押す。
3D モードに変わります。
必要に応じて、その他のメニュー項目（3D 反転、3D フォーマット）を設定してください。
(75 ページ)

## 3 3D 映像のソフトを再生して、本機で投写する。

## 4 液晶シャッタ眼鏡を装着して映像を視聴する。

3D 映像を視聴し終えたら、3D モードを「オフ」に切り替えてください。

**注意**

- 入力信号によっては 3D を「オン」にできない場合があります。
- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。
- 液晶シャッタ眼鏡は、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。
  そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、液晶シャッタ眼鏡で同期信号が正常に受光できず、3D 映像が観づらくなることがあります。

## 3D 映像が視聴できないとき

3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。
また、液晶シャッタ眼鏡に添付している取扱説明書をご覧ください。

| 考えられる原因 | 解決策 |
|---|---|
| 選択している信号が 3D に対応していない。 | 3D 対応の映像信号を入力してください。 |
| 選択している信号に対して 3D モードが「オフ」になっている。 | オンスクリーンメニューで3Dモードを「オン」にしてください。 |
| 本機に対応した眼鏡を使用していない。 | 市販の 3D メガネ（DLP Link 対応（周波数 144Hz））をお買い求めください。 |
| 本機に対応した液晶シャッタ眼鏡を使用して 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。 | |
| 液晶シャッタ眼鏡の電源をオフにしている。 | 液晶シャッタ眼鏡の電源をオンにしてください。 |
| 液晶シャッタ眼鏡に内蔵している電池が消耗している。 | 充電するか、電池を交換してください。 |
| 視聴者とスクリーンの距離が離れ過ぎている。 | 3D 映像が視聴できるまでスクリーンに近づいてください。 |
| | オンスクリーンメニューで 3D 反転を「オフ」にしてください。 |
| 周辺で複数台の 3D 対応プロジェクターを同時に動かしているため、干渉しあっている。または、スクリーンの近くに明るい光源がある。 | プロジェクター同士を十分離してください。 |
| | スクリーンを光源から離してください。 |
| | オンスクリーンメニューで 3D 反転を「オフ」にしてください。 |
| コンピュータで再生している 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。 | |
| コンピュータの動作環境が 3D 映像の再生に適していない。 | お使いのコンピュータが、再生する 3D 映像の説明書に記載されている動作環境を満たしているか確認してください。 |
| コンピュータから出力されている信号の解像度が本機で 3D 映像と認識できない。 | コンピュータの解像度を、本機で 3D 映像と認識できる解像度に変更してください。 |
| コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数が本機で 3D 映像と認識できない。 | コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数を 60Hz または 120Hz に変更してください。 |

# 3-8. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

## 概要

本機とコンピュータをネットワーク（有線 LAN）で接続し、コンピュータのウェブブラウザを使って本機の設定変更や操作を行うことができます。この機能を HTTP サーバ機能と呼びます。
HTTP サーバ機能は、次のような 5 つの画面に分かれています。なお、HTTP サーバ機能で表示される言語は英語のみです。

(1) Home 画面
本機の各種情報を表示します。

(2) Network Settings 画面
本機の LAN の設定を表示し、設定を変更します。また、CRESTRON ROOMVIEW および AMX Control の設定を行います。

(3) Projector Status and Control 画面
投写方法、信号切替、ピクチャーモード、AV ミュート、アスペクト、明るさ、コントラスト、音量などの操作を行います。

(4) E-mail Alert 画面
接続しているプロジェクターに対して、メール通知の設定を行います。
本機をネットワークに接続しているときに、ランプの交換時期や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。

(5) Password Setting 画面
パスワードを設定することにより、HTTP サーバ機能を第三者に使用させないようにします。PJLink を使用する場合は、ここでパスワードを設定します。

**注意**

- パスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（→裏表紙）にご連絡ください。

**参考**

- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。（英語のみ）http://www.crestron.com
- AMX Control は、本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効／無効を設定します。
- PJLink（ピージェイリンク）とは一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（略称 JBMIA) が制定したネットワーク（通信）インターフェイス規格です。
http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html
本機は、PJLink class 1 のすべてのコマンドに対応しています。

## HTTP サーバ機能へのアクセス方法

HTTP サーバ機能にアクセスするには次の手順で行います。

① 本機とコンピュータを LAN ケーブルで接続します。（94 ページ）

② ネットワークで接続します。
必要に応じて、本機とコンピュータの IP アドレスやサブネットマスクなどを設定してください。

本機のネットワークの設定は、オンスクリーンメニューの設置→アドバンスト→「PC CONTROL モード」を「LAN」に切り替えたあと、「ネットワーク」で行ってください。（79 ページ）

③ コンピュータのウェブブラウザを起動し、URL の入力欄へ「http://< 本機の IP アドレス >/index.html」と入力し、Enter キーを押します。
例えば、本機の IP アドレスを「192.168.0.10」と設定している場合は、「http://192.168.0.10/index.html」と入力します。
ウェブブラウザに本機の HTTP サーバ画面が表示されます。

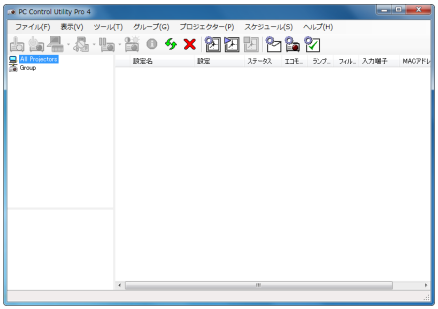
**注意**

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
  また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5] キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。
- プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバはできるだけ使用しないことを推奨します。

# 3-9. LAN を経由して本機を操作する（PC Control Utility Pro 4/Pro 5）

本機は、当社のユーティリティソフト PC Control Utility Pro 4/PC Control Utility Pro 5 が使用できます。当社プロジェクターのサポートページからダウンロードしてください。
PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用すると、コンピュータから有線 LAN を経由して本機を制御することができます。

**PC Control Utility Pro 4 は Windows 用のソフトウェアです**（63 ページ）
**PC Control Utility Pro 5 は Mac OS 用のソフトウェアです**（65 ページ）



PC Control Utility Pro 4 画面

- **主な制御機能**
  電源オン／オフ、信号切替、フリーズ、映像ブランク、音声ミュート、調整、エラー通知メール、イベントスケジュール

ここでは、本機を有線 LAN に接続して、PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用するまでの流れを説明します。PC Control Utility Pro 4/Pro 5 の詳しい操作については、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（Windows: 65 ／ Mac: 66 ページ）

**ステップ①：ソフトウェアをコンピュータにインストールする**
**（Windows: 63 ／ Mac: 65 ページ）**
**ステップ②：本機を LAN に接続する（Windows: 64 ／ Mac: 66 ページ）**
**ステップ③：ソフトウェアを起動する（Windows: 64 ／ Mac: 66 ページ）**

参考
- PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。

## Windows で使用する場合

| | |
|---|---|
| 対応 OS | Windows 8, Windows 8 Pro, Windows 8 Enterprise<br>Windows 7 Home Basic, Windows 7 Home Premium, Windows 7 Professional, Windows 7 Ultimate, Windows 7 Enterprise<br>Windows Vista Home Basic, Windows Vista Home Premium, Windows Vista Business, Windows Vista Ultimate, Windows Vista Enterprise<br>Windows XP HomeEdition<br>Windows XP Professional |

※ Windows 8 および Windows XP において PC Control Utility Pro 4 を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

### ●ステップ①：PC Control Utility Pro 4 をコンピュータにインストールする

#### 1 コンピュータをインターネットに接続し、当社プロジェクターのサポートページを表示する。

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

・ 次の URL のホームページを表示してください。
URL: http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html

#### 2 「ダウンロードソフト」の中から「PC Control Utility Pro 4」をダウンロードする。

・ コンピュータの任意のフォルダに「PCCUPxxx.exe」ファイルを保存してください。
ソフトウェアのバージョンによってファイル名が異なります。

#### 3 ダウンロードした「PCCUPxxx.exe」をダブルクリックする。

インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

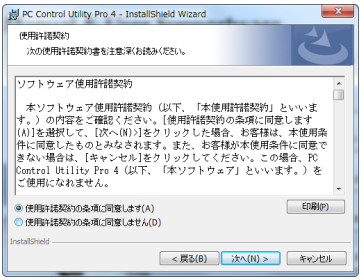
PC Control Utility Pro 4 - InstallShield Wizard
PC Control Utility Pro 4用のInstallShield ウィザードへようこそ
InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ PC Control Utility Pro 4 をインストールします。「次へ」をクリックして、続行してください。
警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保護されています。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

**4** 「次へ (N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください。

**5** 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」をクリックする。

・以降は、画面のメッセージに従って操作してください。




参考

- **PC Control Utility Pro 4 のアンインストール方法**
  PC Control Utility Pro 4 をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「PC Control Utility Pro 4」読み替えてください。（51 ページ）

## ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「5-5. 有線 LAN と接続する」（94 ページ）およびオンスクリーンメニューの設置→アドバンスト→ネットワーク（79 ページ）の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

## ●ステップ③：PC Control Utility Pro 4 を起動する

**1** Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4」の順にクリックする。

注意

- PC Control Utility Pro 4 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
  あらかじめコントロールパネルの『電源オプション』を確認して、スリープ設定やスタンバイ設定などを解除してください。
  **【例】Windows 7 の場合：**
  ［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］→［電源オプション］→［コンピュータがスリープ状態になる時間を変更］の［コンピュータをスリープ状態にする］を「なし」に設定します。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」に設定していると、プロジェクターがスタンバイ状態のときシリアルケーブルおよび有線 LAN を介してプロジェクターの制御ができません。
- 本機は PC Control Utility Pro 4 の LAN 自動検索機能には対応していません。接続するには手動で IP アドレスを登録してください。
- 本機がスタンバイ状態のときは、PC Control Utility Pro 4 のエラー通知メール機能が利用できません。スタンバイ状態のときにメール通知機能を利用する場合は、HTTP サーバ機能（60 ページ）を使用してください。

参考

● PC Control Utility Pro 4 のヘルプ表示方法

◆ PC Control Utility Pro 4 の起動中に表示する

1 PC Control Utility Pro 4 ウィンドウの「ヘルプ (H)」→「ヘルプ (H)…」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆スタートメニューから表示する

1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4 Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

## Mac OS で使用する場合

| 対応 OS | Mac OS X v10.6, v10.7, v10.8 |
|---|---|

### ●ステップ①：PC Control Utility Pro 5 をコンピュータにインストールする

**1 コンピュータをネットワークに接続し、当社プロジェクターのサポートページを表示する。**

・次の URL のホームページを表示してください。
URL: http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html

**2 「ダウンロードソフト」の中から「PC Control Utility Pro 5」をダウンロードする。**

**3 Finder で Mac のダウンロードフォルダを開き、「PC Control Utility Pro 5.mpkg」を [control] キーを押しながらクリックするか右クリックする。**

**4 表示されるコンテクストメニューから「開く」を選択する。ダイヤログボックスが表示されたら「開く」を選択する。**
インストーラがスタートします。

**5 [続ける] をクリックする。**
使用許諾契約が表示されます。

**6 記載内容を確認し、[続ける] をクリックする。**
確認ウィンドウが表示されます。

**7 [同意する] をクリックする。**

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

## ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「5-5. 有線 LAN と接続する」（94 ページ）およびオンスクリーンメニューの設置→アドバンスト→ネットワーク（79 ページ）の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

## ●ステップ③：PC Control Utility Pro 5 を起動する

**1** Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。

**2**「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。

**3**「PC Control Utility Pro 5」アイコンをクリックする。

PC Control Utility Pro 5 が起動します。

**注意**

- PC Control Utility Pro 5 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
  あらかじめシステム環境設定の『省エネルギー環境設定』を確認して、コンピュータのスリープ設定を解除してください。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」に設定していると、プロジェクターがスタンバイ状態のときネットワーク（有線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

**参考**

**● PC Control Utility Pro 5 のヘルプ表示方法**

◆PC Control Utility Pro 5 の起動中に表示する

**1** メニューバーの「ヘルプ」→「ヘルプ」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

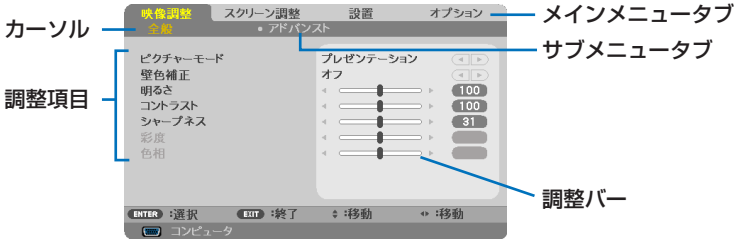
◆Dock から表示する

**1** Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
**2**「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
**3**「PC Control Utility Pro 5 Help」アイコンをクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

# 4. オンスクリーンメニュー

## 4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。
オンスクリーンメニューを表示するには (メニュー) ボタンを押します。また、オンスクリーンメニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。
オンスクリーンメニューの画面構成は次のとおりです。




### ●カーソル
選択しているメニュー項目を表しています。

### ●メインメニュータブ／サブメニュータブ
メインメニュータブは (◀/▶) ボタンを押してカーソルを移動して選択します。
メインメニュータブの別な項目を選択すると、サブメニュータブも切り替わります。

### ●調整項目
サブメニュータブに連動したメニューです。
(▼/▲) ボタンを押してカーソルを移動して選択します。
選択したメニューを決定する場合は、(決定)ボタンを押します。

### ●調整バー
「音量」など、横長の調整バーが表示された場合は、(◀/▶) ボタンを押して調整します。

# 4-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

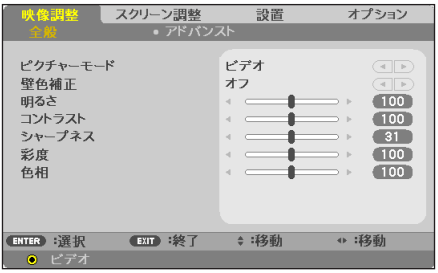
| メニュー | | | 選択項目 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| メインメニュー | サブメニュー | | | |
| 映像調整 | 全般 | ピクチャーモード | プレゼンテーション／高輝度モード／ビデオ／ムービー／sRGB／黒板／ユーザー1／ユーザー2 | 71 |
| | | 壁色補正 | オフ／赤／緑／青／シアン／マゼンタ／イエロー | 72 |
| | | 明るさ | 0 ～ 100 | 72 |
| | | コントラスト | 0 ～ 100 | 72 |
| | | シャープネス | 0 ～ 31 | 72 |
| | | 彩度 | 0 ～ 100 | 72 |
| | | 色相 | 0 ～ 100 | 72 |
| | アドバンスト | ガンマ補正 | フィルム／ビデオ／グラフィック／PC／黒板 | 73 |
| | | BrilliantColor ™ | 0 ～ 10 | 73 |
| | | 色温度 | 低／中／高 | 73 |
| | | ダイナミックコントラスト | オフ／オン | 73 |
| | | カラー | 赤ゲイン／緑ゲイン／青ゲイン／シアンゲイン／マゼンタゲイン／イエローゲイン／赤バイアス／緑バイアス／青バイアス／リセット | 73 |
| | | カラースペース | 自動／RGB／YUV | 73 |
| スクリーン調整 | 全般 | アスペクト | 4:3 ／ 16:9 ／ 16:10 ／ 15:9 ／ 5:4 ／リアル／自動 | 74 |
| | | オーバースキャン | 0 ／ 5 ／ 10［%］ | 74 |
| | | 垂直台形補正 | -40 ～ 40 | 74 |
| | 3D 設定 | 3D | オフ／オン | 75 |
| | | 3D 反転 | オフ／オン | 75 |
| | | 3D フォーマット | 自動／フレームパッキング／オーバー / アンダー／サイドバイサイド／フレームシーケンシャル | 75 |
| 設置 | 全般 | 言語 | English, Deutsch, Français, Italiano, Español, Português, Polski, Русский, Svenska, Norsk Türkçe, Ελληνικά, Magyar, Čeština, 簡体中文, 日本語, 한국어, عربي, 繁體中文, INDONESIA | 76 |
| | | 投写方法 | デスク / フロント／デスク / リア／天吊り / フロント／天吊り / リア | 76 |
| | | リモコン受光部設定 | 前側 / 後側／前側／後側 | 77 |

| メニュー | | | | | 選択項目 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| メインメニュー | サブメニュー | | | | | |
| 設置 | 全般 | HDMI設定 | HDMI1 | ビデオレベル | 自動／標準／拡張 | 77 |
| | | | | 音声入力選択 | HDMI1／コンピュータ | 77 |
| | | | HDMI2 | ビデオレベル | 自動／標準／拡張 | 77 |
| | | | | 音声入力選択 | HDMI2／コンピュータ | 77 |
| | | ミュート | | | オフ／オン | 77 |
| | | 音量 | | | 0～31 | 77 |
| | 信号 | 位相 | | | | 78 |
| | | クロック周波数 | | | | 78 |
| | | 水平位置 | | | | 78 |
| | | 垂直位置 | | | | 78 |
| | アドバンスト | ロゴ | | | オフ／オン | 79 |
| | | PC CONTROLモード | | | PC CONTROL／LAN | 79 |
| | | ネットワーク | ネットワーク接続の状態 | | 接続／切断（表示のみ；選択できません） | 79 |
| | | | DHCP | | オフ／オン | 79 |
| | | | IPアドレス | | （工場出荷時：192.168.0.10） | 79 |
| | | | サブネットマスク | | （工場出荷時：255.255.255.0） | 79 |
| | | | ゲートウェイ | | （工場出荷時：0.0.0.0） | 79 |
| | | | 適用 | | いいえ／はい | 79 |
| | | クローズドキャプション | | | オフ／CC1／CC2／CC3／CC4／T1／T2／T3／T4 | 80 |
| | | セキュリティ | セキュリティ | | オフ／オン | 80 |
| | | | セキュリティタイマー | | 月／日／時／戻る | 80 |
| | | | セキュリティキーワード変更 | | （セキュリティキーワード入力画面） | 80 |

| メニュー | | | 選択項目 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| メインメニュー | サブメニュー | | | |
| オプション | 全般 | 自動入力切換 | オフ／オン | 81 |
| | | 端子 | コンピュータ／ HDMI1 ／ HDMI2 ／ビデオ／ S- ビデオ | 81 |
| | | ファンモード | 自動／高速 | 81 |
| | | オンスクリーン非表示 | オフ／オン | 81 |
| | | バックグラウンド | ブラックバック／ブルーバック | 82 |
| | | リセット | いいえ／はい | 82 |
| | ランプ／フィルタ設定 | ランプ残量 | （表示のみ；選択できません） | 82 |
| | | ランプ使用時間 | （表示のみ；選択できません） | 82 |
| | | フィルタ使用時間 | （表示のみ；選択できません） | 82 |
| | | エコモード | オフ／エコ | 82 |
| | | ランプメッセージ | オフ／オン | 83 |
| | | フィルタ清掃時間 | 0 ～ 9900 | 83 |
| | | ランプ時間クリア | いいえ／はい | 83 |
| | | フィルタ時間クリア | いいえ／はい | 83 |
| | 情報 | MODEL NO. | NP-PE401H（表示のみ;選択できません） | 84 |
| | | SERIAL NUMBER | （表示のみ；選択できません） | 84 |
| | | 入力端子 | （表示のみ；選択できません） | 84 |
| | | 解像度（ビデオモード時 : Video） | （表示のみ；選択できません） | 84 |
| | | ソフトウェアバージョン | （表示のみ；選択できません） | 84 |
| | アドバンスト | スタンバイモード | 省電力／標準 | 84 |
| | | ダイレクトパワーオン | オフ／オン | 85 |
| | | オートパワーオフ（分） | 0 ～ 30 ～ 180 | 85 |
| | | オフタイマー（分） | 0 ～ 995 | 85 |
| | | 本体キーロック | オフ／オン | 85 |

# 4-3. 映像調整

## 全般




### ●ピクチャーモード

投写した映像に最適な設定を選択します。

アドバンスメニューでお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をユーザー 1 またはユーザー 2 に登録できます。

| | |
|---|---|
| プレゼンテーション | PowerPoint などでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。 |
| 高輝度モード | 明るい部屋で投写するときに適した設定にします。 |
| ビデオ | テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。 |
| ムービー | 映画を投写するときに適した設定にします。 |
| sRGB | sRGB に準拠した色が再現されます。 |
| 黒板 | 黒板（濃い緑色）に投写するときに適した設定にします。 |
| ユーザー 1 | 「プレゼンテーション」や「高輝度モード」などのピクチャーモードを選択し、「明るさ」や「コントラスト」などの調整を行うと、そのときの調整値が「ユーザー 1」として本体に記憶されます。 |
| ユーザー 2 | ピクチャーモードの項目とは無関係に自由に調整を行い、調整値を本体に記憶させる場合は「ユーザー 2」を選択します。 |

参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996 年に Hewlett-Packard 社と Microsoft 社が策定し、1999 年に IEC の国際規格となりました。

## ●壁色補正

映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

## ●明るさ

映像を明るくしたり、暗くします。

## ●コントラスト

映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。

## ●シャープネス

映像をくっきりしたり、やわらかくします。

## ●彩度

色を濃くしたり、淡くしたりします。

参考

- ビデオ、S- ビデオ信号のときに表示されます。

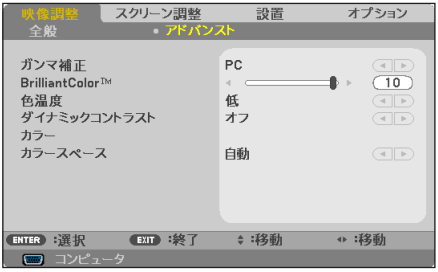
## ●色相

赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

参考

- ビデオ、S- ビデオ信号のときに表示されます。

# アドバンスト




## ●ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

| | |
|---|---|
| フィルム | ホームシアターに適した設定です。 |
| ビデオ | テレビ番組を投写するのに適した設定です。 |
| グラフィック | 写真やイラストなどを投写するのに適した設定です。 |
| PC | コンピュータの画面を投写するのに適した設定です。 |
| 黒板 | 黒板に投写するのに適した設定です。 |

## ● BrilliantColor ™

白の明るさを調整します。

高い数値を設定すると白色がより明るくなります。

## ●色温度

色（R, G, B）のバランスを調整して色再現性を最良にします。

「高」を選択すると青みがかった白になり、「低」を選択すると赤みがかった白になります。

注意

- ピクチャーモードが「高輝度モード」または「sRGB」のとき、「色温度」の項目は表示されません。

## ●ダイナミックコントラスト

「オン」にすると、最適なコントラスト比に調整します。

## ●カラー

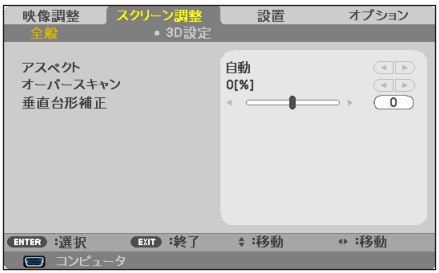
赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄の各色を調整します。

## ●カラースペース

カラーマトリックスのタイプを選択します。

# 4-4. スクリーン調整

## 全般




### ●アスペクト

入力信号の横×縦の比率を選択します。本機では「4:3 ／ 16:9 ／ 16:10 ／ 15:9 ／ 5:4」のいずれかを設定できます。

「自動」を選択すると、横×縦の比率を自動判別します。

また、「リアル」を選択すると、入力信号の横×縦の比率のまま投写します。

### ●オーバースキャン

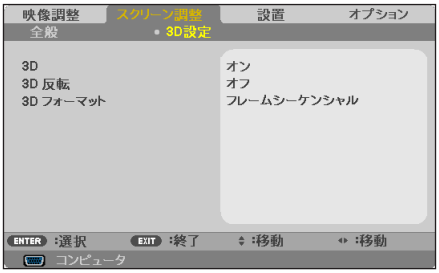
オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。

### ●垂直台形補正

台形補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「2-6. 台形歪みを調整する」（36 ページ）をご覧ください。

# 3D 設定




## ● 3D

3D モードのオン／オフを切り替えます。

## ● 3D 反転

3D 映像が観づらい場合に設定を変更します。

左目用の画像と右目用の画像の表示順を変更します。

## ● 3D フォーマット

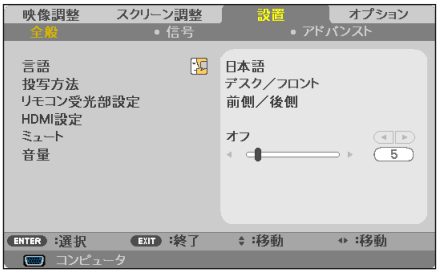
投写する 3D 映像のフォーマットを選択します。

参考

- 操作について詳しくは、「3-7.3D 映像を投写する」（57 ページ）をご覧ください。

# 4-5. 設置

## 全般




### ●言語

メニューに表示される言語を選択します。

参考

- 言語は、リセットを行っても変更されません。

### ●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。<br>お客様による設置は絶対にしないでください。<br>落下してけがの原因となります。 |

| | |
|---|---|
| デスク／フロント | テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 |
| デスク／リア | テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 |
| 天吊り／フロント | 天井や壁に設置してスクリーンの前面から投写 |
| 天吊り／リア | 天井や壁に設置してスクリーンの背面から投写 |

## ●リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

| | |
|---|---|
| 前側／後側 | 前面および後面のリモコン受光部を有効にします。 |
| 前側 | 前面のみのリモコン受光部を有効にします。 |
| 後側 | 後面のみのリモコン受光部を有効にします。 |

参考

- 本機を天吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

## ● HDMI 設定

本機の HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子と外部機器とを接続した場合の映像信号レベルと音声入力端子の選択です。

| | | | |
|---|---|---|---|
| HDMI1 | ビデオレベル | 自動 | 信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。<br>接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「標準」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。 |
| | | 標準 | 拡張を無効にします。 |
| | | 拡張 | 映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。 |
| | 音声入力選択 | HDMI1 | HDMI 1 入力端子のデジタル音声になります。 |
| | | コンピュータ | コンピュータの音声入力端子になります。 |
| HDMI2 | ビデオレベル | 自動 | HDMI1 と同じ機能です。 |
| | | 標準 | |
| | | 拡張 | |
| | 音声入力選択 | HDMI2 | HDMI 2 入力端子のデジタル音声になります。 |
| | | コンピュータ | HDMI1 と同じ機能です。 |

## ●ミュート

「オン」を選択すると、内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

## ●音量

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

# 信号

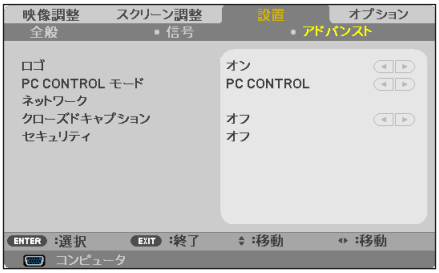
## ●位相
画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。

## ●クロック周波数
画面の色ずれ、ちらつきを調整します。

## ●水平位置
画面を水平方向に移動します。

## ●垂直位置
画面を垂直方向に移動します。

## アドバンスト




### ●ロゴ

「オン」を選択すると、本機が起動する際に NEC ロゴを投写します。

### ● PC CONTROL モード

本機を外部機器から制御する機能を行う端子を選択します。

HTTP サーバ機能やメール通知機能を使用する場合は、「LAN」を選択してください。

| | |
|---|---|
| PC CONTROL | PC コントロール端子に接続した外部機器から本機を制御します。 |
| LAN | LAN ポートに接続した外部機器から本機を制御します。 |

注意

- スタンバイモードを「省電力」に設定しているときは、本機のスタンバイ状態のときに外部機器からの制御ができなくなります。

### ●ネットワーク

重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポート(LAN) に LANケーブル(Ethernetケーブル) を接続してください。(94ページ)
- オンスクリーンメニューの「PC CONTROLモード」の設定を「LAN」に切り替えてください。

本機をネットワークに接続するために、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。

IP アドレスなどの数値を設定する場合は (▼/▲) ボタンを押します。

必要な設定が終わったら、「適用」にカーソルを合わせて(決定)ボタンを押します。確認画面で「はい」にカーソルを合わせます。

## ●クローズドキャプション

ビデオ信号、S- ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

## ●セキュリティ

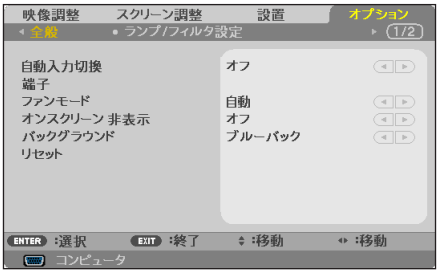
セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-4. セキュリティを設定して無断使用を防止する」（44 ページ）をご覧ください。

# 4-6. オプション

## 全般




### ●自動入力切換

入力信号を自動的に検出するかどうかを設定します。

| | |
|---|---|
| オフ | 入力中の信号が途切れても、自動的に信号の検出を行いません。 |
| オン | 入力中の信号が途切れた際、自動的に信号の検出を行います。 |

### ●端子

「自動入力切換」を「オン」に設定しているとき、信号を検知して投写する信号を選択します。

チェックを外した信号は、(入力切替) ボタンを押したときに検知されず投写されません。

### ●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

| | |
|---|---|
| 自動 | 本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。 |
| 高速 | 常に高速で回転します。<br>標高約 760m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合にも選びます。 |

**注意**

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 760m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高速」に設定してください。「高速」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。

### ●オンスクリーン非表示

画面左上に表示する情報（入力信号など）を表示しない場合に「オン」に設定します。

## ●バックグラウンド
入力信号がないときの背景色（黒または青）を選択します。

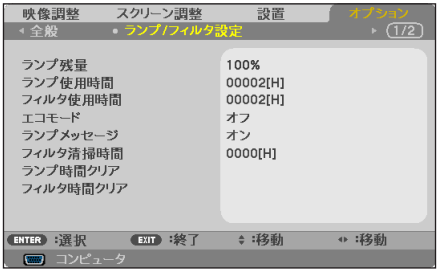
## ●リセット
本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

**【リセットされないデータ】**

言語・ロゴ・バックグラウンド・フィルタ清掃時間・セキュリティ・スタンバイモード・ファンモード・ランプ残量・ランプ使用時間・フィルタ使用時間・PC コントロールモード・ネットワーク

# ランプ／フィルタ設定




## ●ランプ残量
ランプ交換時間（目安）に対するランプ使用時間をパーセントで表示します。

## ●ランプ使用時間
ランプを使用した累積時間を表示します。

## ●フィルタ使用時間
フィルタの通算使用時間を表示します。

## ●エコモード
「エコ」を選択すると、ランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間（目安）※を延ばすことにもなります。

エコモード中は、ランプインジケータが緑色で点灯します。

## ●ランプメッセージ

「オン」を選択すると、ランプの交換時間（目安）※をお知らせするメッセージを表示します。メッセージは、ランプ交換時間（目安）※に達すると表示し始めます。

※：保証時間ではありません。

## ●フィルタ清掃時間

フィルタ清掃の注意表示をする時間（時間）を設定します。

「0」に設定していると、フィルタ清掃の注意表示を行いません。

## ●ランプ時間クリア

ランプ使用時間の値を 0 に戻します。

ランプを交換したあと、ランプ時間クリアを行ってください。

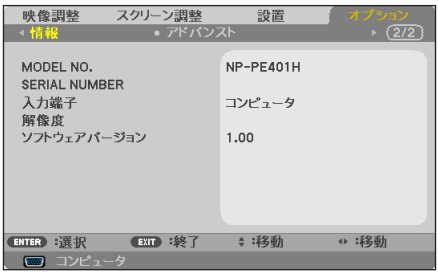
## ●フィルタ時間クリア

フィルタ使用時間の値を 0 に戻します。

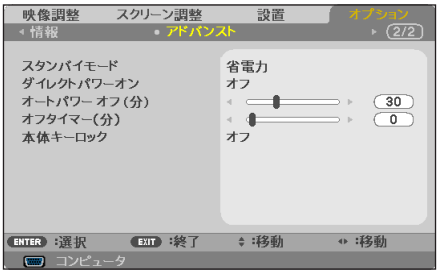
フィルタの清掃をしたあと、フィルタ時間クリアを行ってください。

## 情報

投写中の信号の種類、その信号の解像度または方式、内蔵ソフトウェアのバージョンを表示します。




## アドバンスト




### ●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

| | |
|---|---|
| 省電力 | 省電力状態になり、本機のスタンバイ状態のときの消費電力が下がります。<br>スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータが消灯します。<br>スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。<br>モニタ出力端子、LAN 機能、メール通知機能、本体の電源ボタン以外の操作ボタン、リモコンの電源入以外の操作ボタン、Virtual Remote Tool、PC Control Utility Pro 4/Pro 5、PC コントロール端子 |
| 標準 | 通常の動作を行います。ステータスインジケータが緑色で点灯します。 |

## ●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。

本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

| | |
|---|---|
| オフ | AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。 |
| オン | AC 電源が供給されると電源が入ります。 |

## ●オートパワーオフ（分）

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。0 ～ 180 分の範囲で設定できます。

## ●オフタイマー（分）

オフタイマーを設定しておくと、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。0 ～ 995 分の範囲で設定できます。

## ●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

| | |
|---|---|
| オフ | 本体操作部のボタンが働きます。 |
| オン | 本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。<br>ロック中は、ステータスインジケータがオレンジ色で点灯します。 |

注意

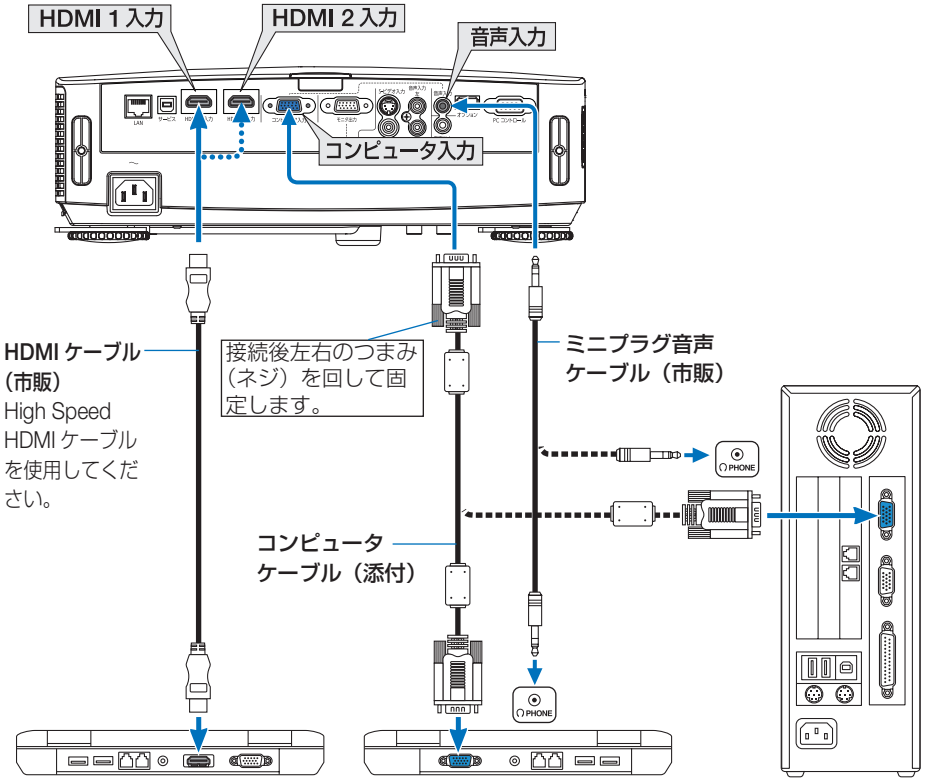
- 本体キーロックの解除方法
  本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の（戻る）ボタンを約 10 秒間押すと、本体キーロックの設定が解除されます。
- スタンバイモードを「省電力」に設定している場合、本体キーロックを「オン」に設定していても、本体の（⏻）ボタンを押して電源を入れることができます。

# 5. 機器と接続する

## 5-1. コンピュータと接続する

コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル（添付）および HDMI ケーブル（市販）を使用する方法があります。

- 添付のコンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を接続します。
- 市販の HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子を接続します。




コンピュータによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピュータの取扱説明書でご確認ください。

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

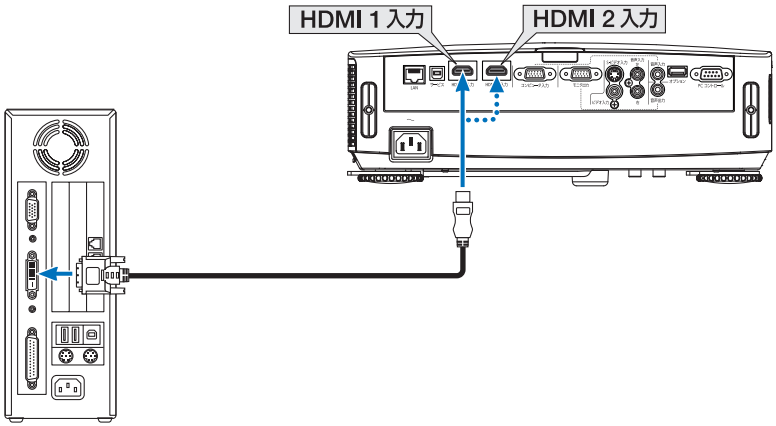
| 接続端子 | 本体の(入力切替)ボタン | リモコンのボタン |
|---|---|---|
| コンピュータ映像入力端子 | コンピュータ | (コンピュータ1) |
| HDMI1 入力端子 | HDMI1 | (HDMI) |
| HDMI2 入力端子 | HDMI2 | (HDMI) |

**注意**

- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピュータの音量を低めに調整してください。そして、コンピュータと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピュータの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピュータにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット（形名 ISS-6020J）のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

**参考**

- コンピュータ映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。
- コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 入力端子に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。また、コンピュータの音声出力は、本機の音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定（HDMI1/HDMI2）→音声入力選択を「コンピュータ」に切り替えてください。（77 ページ）

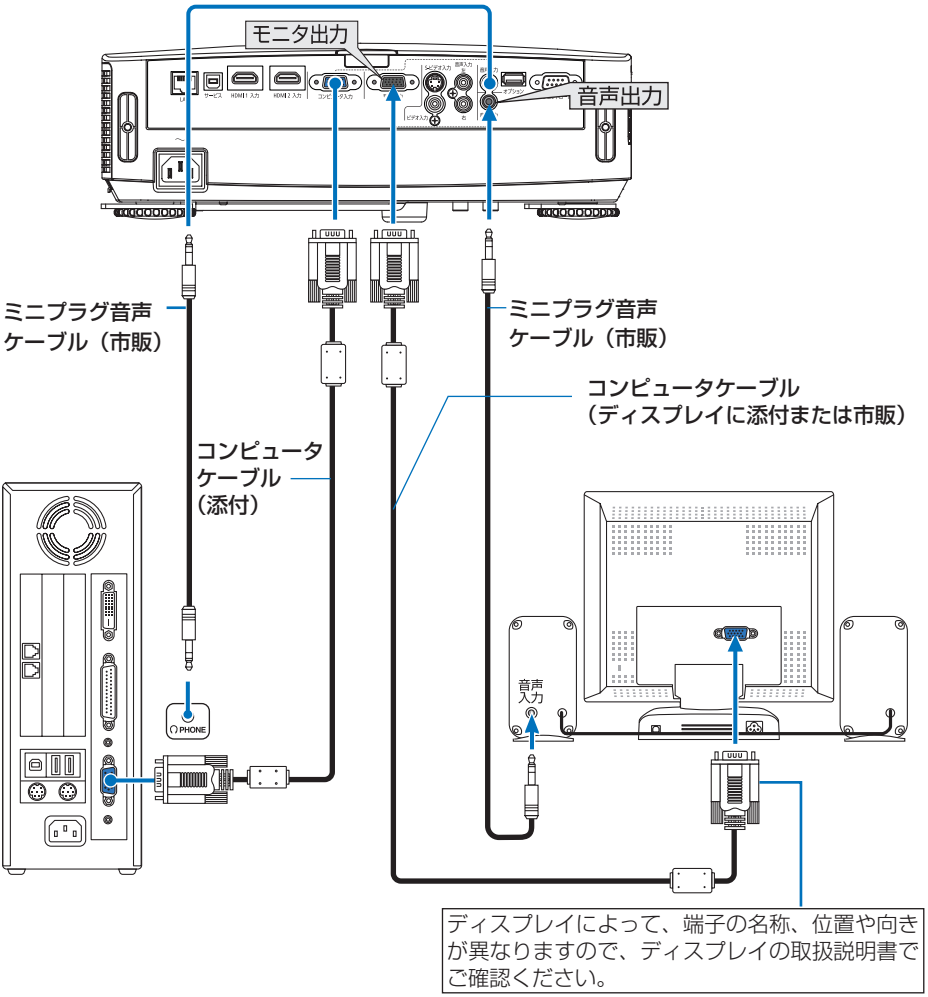


注意

- DVI（デジタル）入力時の注意事項
  - DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m以内のものを使用してください。
  - DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源が切れた状態で行ってください。
  - DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピュータを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピュータを再起動してください。
  - コンピュータのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
  - 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。
    一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

# 5-2. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示(モニタ)して確認できます。コンピュータ映像入力端子に入力された信号だけがモニタ出力端子から出力されます。



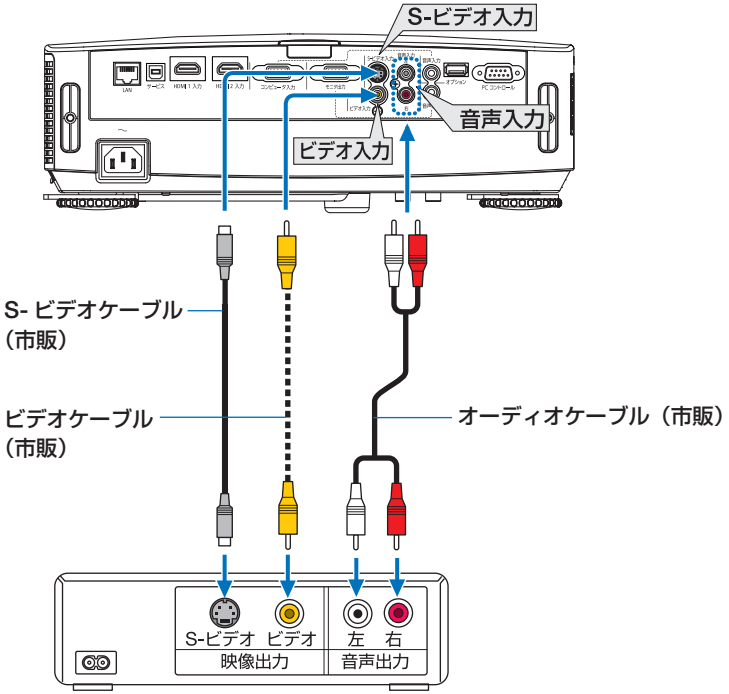

**注意**

- 本機のモニタ出力端子は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。
- 本機がスタンバイ状態のとき、音声出力端子は使用できません。
- 本機がスタンバイ状態のとき、オンスクリーンメニューの「スタンバイモード」が「省電力」に設定されていると、モニタ出力端子は使用できません。
- モニタ出力端子はセパレート同期信号のみ対応しています。

# 5-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する

## ビデオ信号／ S- ビデオ信号の接続

DVD プレーヤ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。




●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

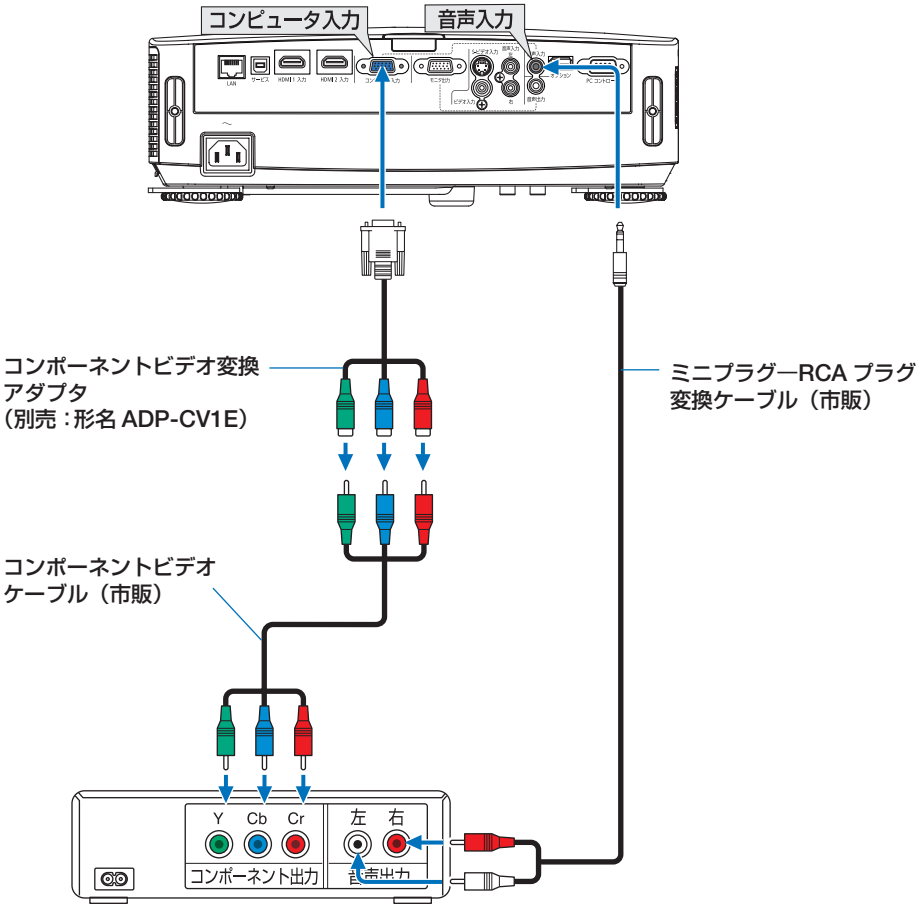
| 接続端子 | 本体の（入力切替）ボタン | リモコンのボタン |
|---|---|---|
| ビデオ映像入力端子 | ビデオ | （ビデオ） |
| S- ビデオ映像入力端子 | S- ビデオ | （S-ビデオ） |

注意

● ビデオと S- ビデオの音声入力端子は共用です。

## コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。




●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

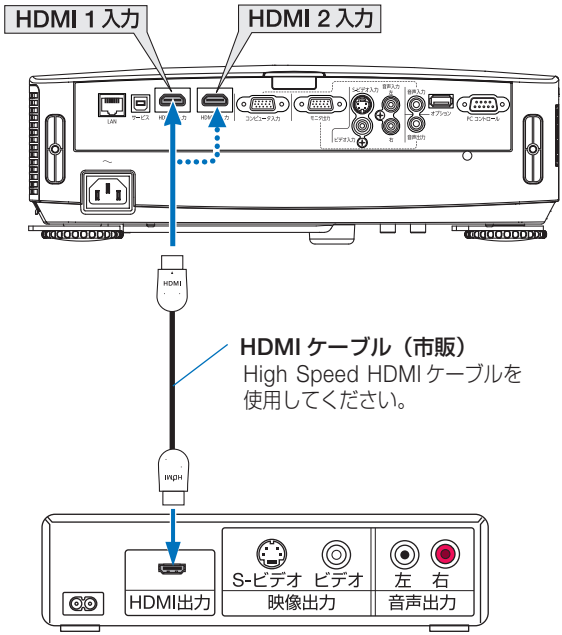
| 接続端子 | 本体の（入力切替）ボタン | リモコンのボタン |
|---|---|---|
| コンピュータ映像入力端子 | コンピュータ | （コンピュータ1） |

参考

- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ（形名 ADP-DT1E）をお使いください。

## デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤまたはデジタル放送チューナなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力できます。




●本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

| 接続端子 | 本体の（入力切替）ボタン | リモコンのボタン |
|---|---|---|
| HDMI 1 入力端子 | HDMI 1 | （HDMI） |
| HDMI 2 入力端子 | HDMI 2 | （HDMI） |

**注意**

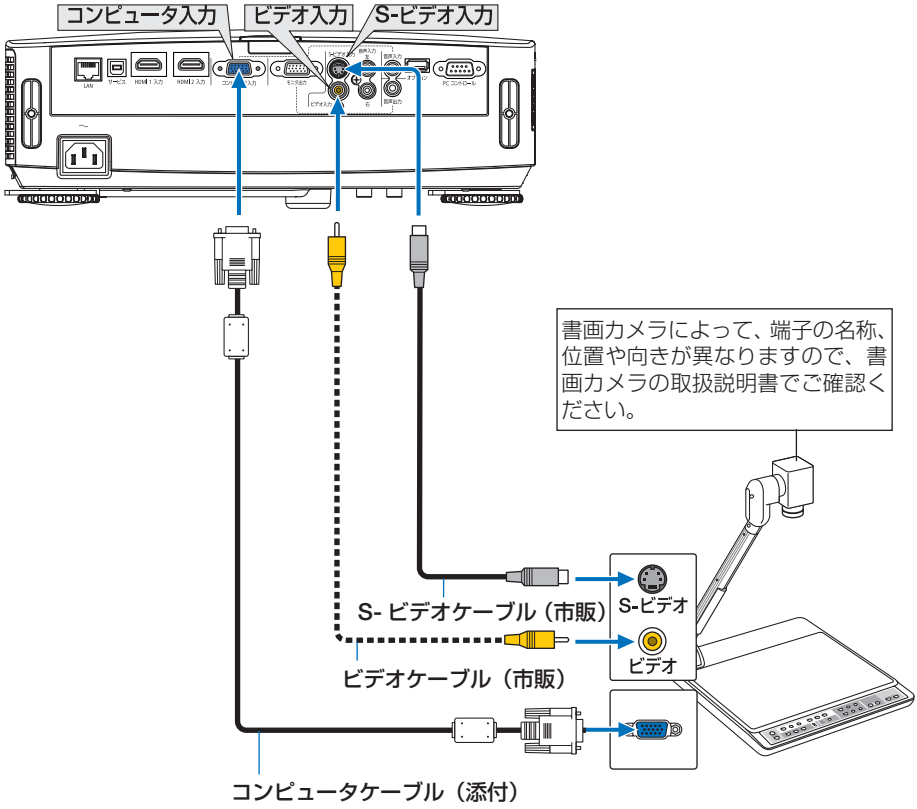
- 本機に接続する映像機器および HDMI ケーブルによっては、映像機器の DeepColor 設定を ON にしている場合に、映像や音声にノイズが発生することがあります。このような現象が発生した場合は、DeepColor 設定を OFF（8bit）に設定してください。

**参考**

- 本機は HDCP（不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム）を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。

# 5-4. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



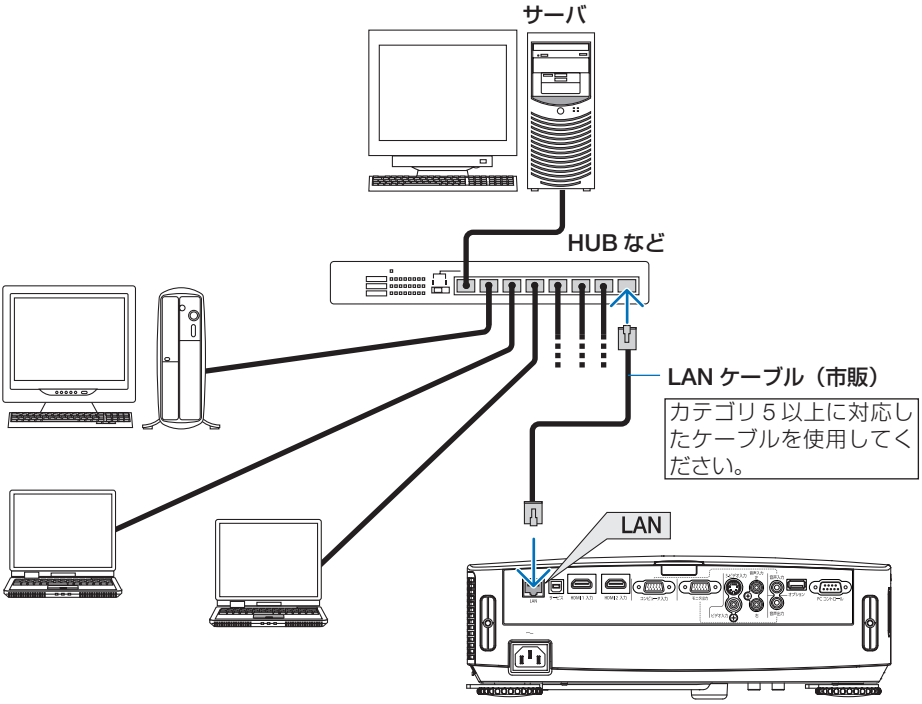

●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

| 接続端子 | 本体の〔入力切替〕ボタン | リモコンのボタン |
|---|---|---|
| コンピュータ映像入力端子 | コンピュータ | 〔コンピュータ1〕 |
| ビデオ映像入力端子 | ビデオ | 〔ビデオ〕 |
| S- ビデオ映像入力端子 | S- ビデオ | 〔S-ビデオ〕 |

# 5-5. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポート（RJ-45）が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→設置→アドバンスト→ネットワーク（79 ページ）をご覧ください。

## 接続例



# 6. 本体のお手入れ／ランプの交換

## 6-1. フィルタの清掃

吸気口のフィルタはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。
フィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。

参考

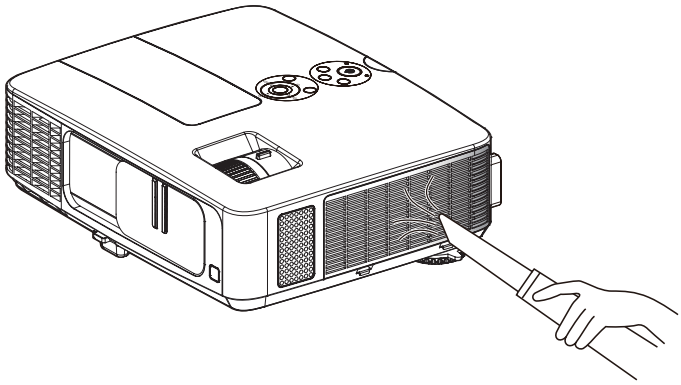
- フィルタ清掃時期の表示について
  本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間（工場出荷状態は 0 時間：0 時間にするとメッセージは表示されません。）を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルタを清掃してください。
  - 設置する環境に合わせて、フィルタ清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。設定についてはオンスクリーンメニューのオプション→ランプ／フィルタ設定→フィルタ清掃時間（83 ページ）をご覧ください。
  - 「フィルタ清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

### 1 フィルタを清掃する。

フィルタは本体の側面にあります。

① 電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。

② 掃除機で吸気口越しにフィルタの清掃を行ってください（フィルタを外す必要はありません）。

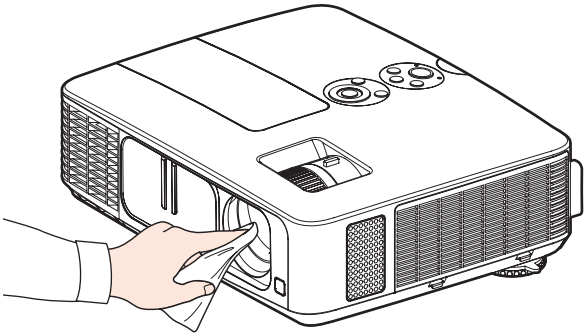


### 2 フィルタ使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。
オンスクリーンメニューのオプション→ランプ／フィルタ設定→フィルタ時間クリアを実行してください。
（83 ページ）

# 6-2. レンズの清掃

レンズを清掃する場合は、市販のカメラ用ブローワーを使用してほこりやゴミを取り除いてください。ふき取る場合は市販のレンズ用クリーニングクロス（布）を使用してください。その際、レンズを傷つけないように十分注意してください。



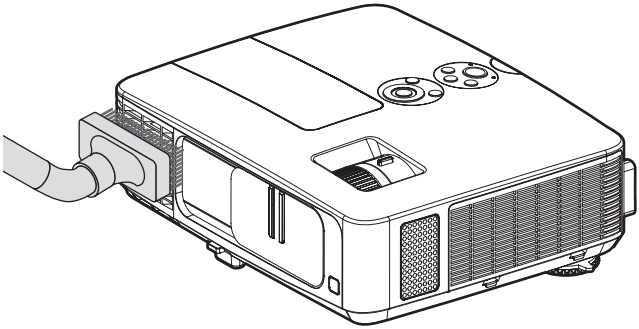
注意

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

# 6-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



**通風孔のほこりを吸い取ります。**

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

**注意**

- キャビネット、レンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

# 6-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）※を超えるとランプインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。」が画面上に表示されます。
この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。
なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）※が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用時間は、オンスクリーンメニューのオプション→ランプ / フィルタ設定→ランプ使用時間で確認してください。（82 ページ）

ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

| | ランプ使用時間 | |
|---|---|---|
| | エコモード「オフ」でのみ使用（最小） | エコモード「エコ」でのみ使用（最大） |
| 工場出荷時 | 0000 時間 | |
| ランプ交換時間（目安）※ | 2500 時間 | 3300 時間 |

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は次の交換用ランプの形名をご指定ください。

| 適用機種 | ランプの形名 |
|---|---|
| NP-PE401HJD | NP24LP |

- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
  また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間（目安）※に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らずスタンバイ状態のままになります。

※ 保証時間ではありません。

| ⚠注意 | ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約１時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。 |
|---|---|

## ランプとフィルタ交換の流れ

**ステップ 1**
ランプを交換する（次ページ）

↓

**ステップ 2**
フィルタを交換する（102 ページ）

↓

**ステップ 3**
ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする（103 ページ）

## ランプを交換する

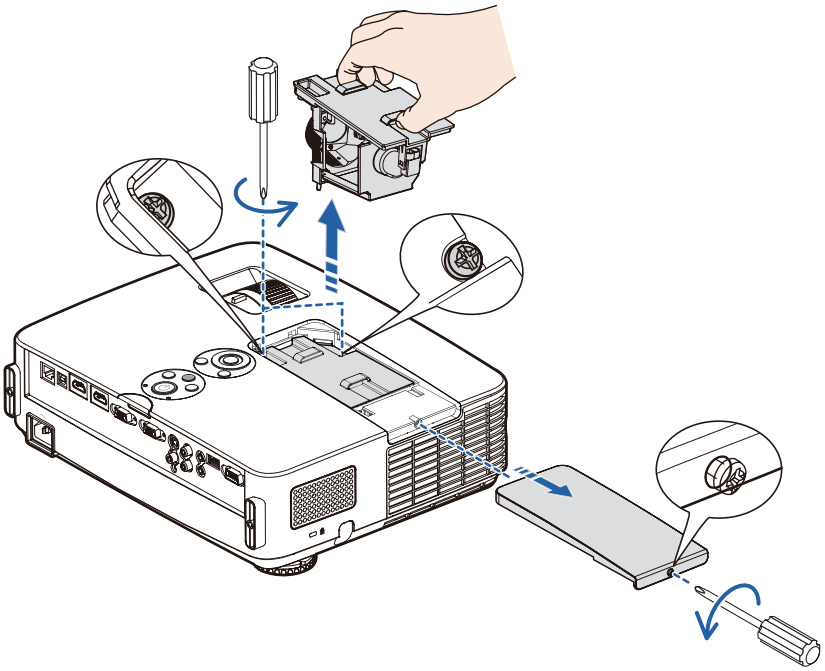
**準備**：プラスドライバーを用意してください。

### 1 ランプカバーを外す。

❶ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。
・ネジは外れません。
❷ランプカバーを手前にスライドさせ、持ち上げて取り外す。

### 2 ランプを外す。

❶ランプ固定のネジ（2 箇所）を左に空転するまでゆるめる。
・ネジは外れません。
❷ランプのツマミを指で挟んで持ち上げる。



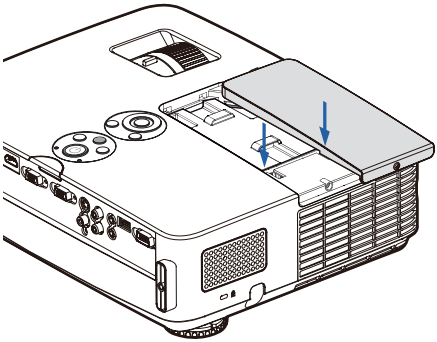
| | |
|---|---|
| ⚠注意 | 高温に注意してください。ランプが冷えていることを確認してから外してください。 |

## 3 新しいランプを取り付ける。

❶ランプを静かに入れる。
・奥まで押し込んでください。
❷ランプの中央部分を押して、ランプのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。
❸ランプ固定のネジ（2 箇所）を右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

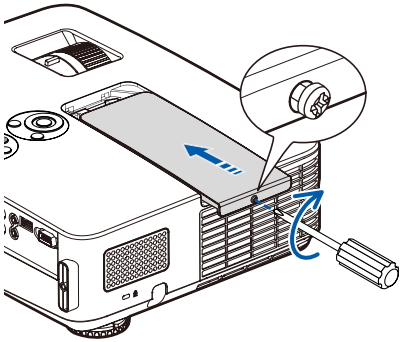
## 4 ランプカバーを取り付ける。

❶右図のようにランプカバーを上から置く。



❷ランプカバーをスライドさせて取り付ける。
・ランプカバーの左右にある溝をプロジェクター側の溝に合わせてください。

❸ランプカバーネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。



これで、ランプ交換が終わりました。
続いてフィルタを交換してください。

## フィルタを交換する

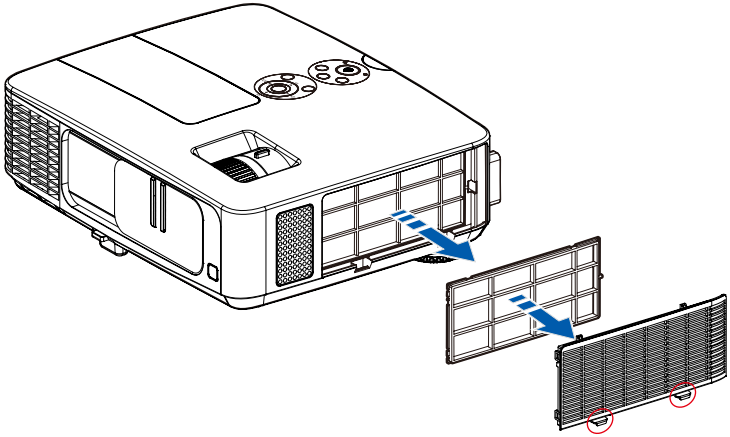
**注意**

- フィルタを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。

**準備**：先にランプの交換を行ってください。（100 ページ）

**1** 左右のボタンを上に押したまま手前に引いてフィルタカバーを取り外す。

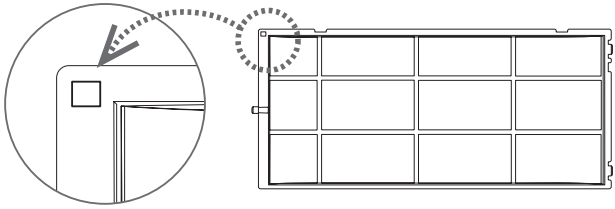
**2** フィルタカバーの裏側に付いているフィルタを取り外す。



**3** 新しいフィルタをフィルタカバーの裏側に取り付ける。

**注意**

- フィルタには表と裏があります。フィルタの表と裏を間違えて取り付けると、フィルタカバーをプロジェクター本体に取り付けることができません。
  図のように、フィルタの角に刻印されている四角（□）マークが左上に見えるようにしてフィルタをフィルタカバーに取り付けてください。



**4** フィルタカバーをプロジェクター本体に取り付ける。

これでフィルタ交換が終わりました。
続いてランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアしてください。

## ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする

**1** 本機を投写する場所に設置する。

**2** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

**3** ランプカウンターをリセットする。

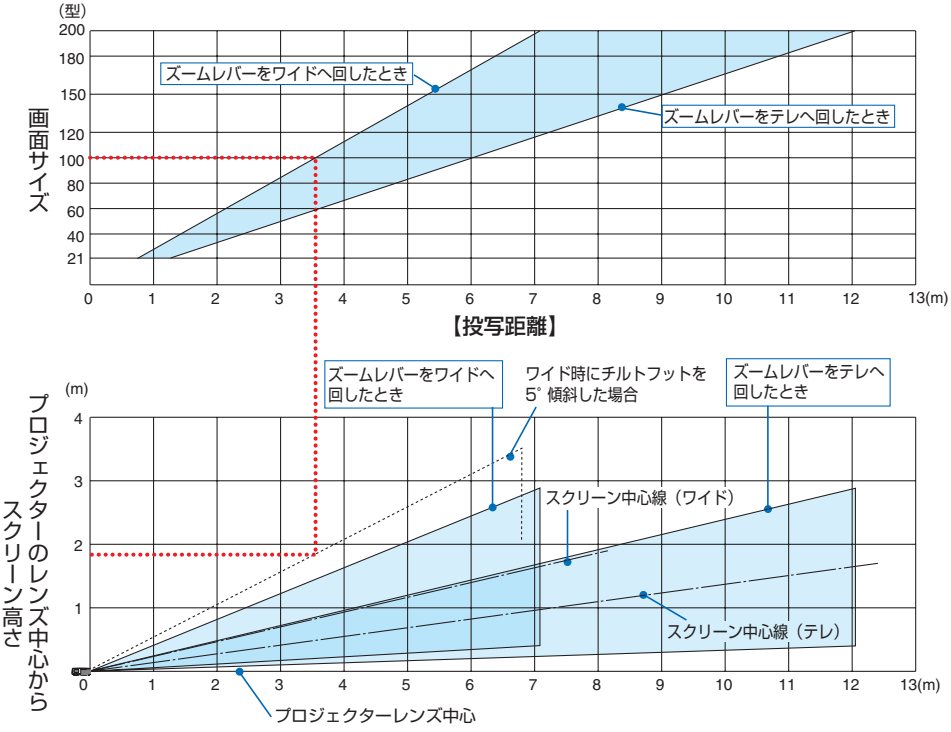
- オプション→ランプ／フィルタ設定→ランプ時間クリアおよびフィルタ時間クリアを実行してください。(83 ページ)

# 7. 付　録

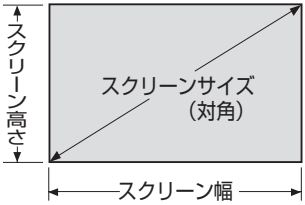
## 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。対応する機種名の投写距離をご覧ください。

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.82m（23 型の場合）～12m（200 型の場合）です。この範囲で設置してください。



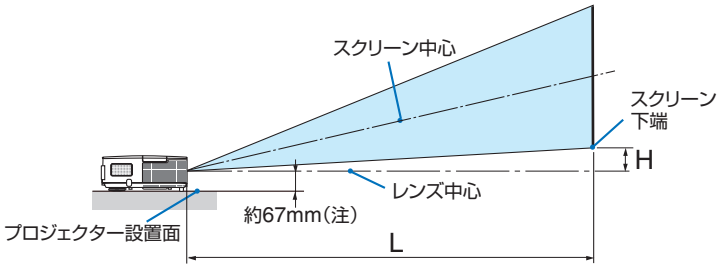

【表のみかた】
上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、3.5m 付近に設置することになります。
また、下の表はプロジェクター設置面からスクリーンの上端までが約 1.8m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 5° 上げることができます。




| サイズ（型） | スクリーン幅（cm） | スクリーン高さ（cm） |
|---|---|---|
| 30 | 66.4 | 37.4 |
| 40 | 88.6 | 49.8 |
| 60 | 132.8 | 74.7 |
| 80 | 177.1 | 99.6 |
| 90 | 199.2 | 112.1 |
| 100 | 221.4 | 124.5 |
| 120 | 265.7 | 149.4 |
| 150 | 332.1 | 186.8 |
| 200 | 442.8 | 249.1 |
| 240 | 531.3 | 298.9 |
| 300 | 664.1 | 373.6 |

## デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。
水平投写位置……レンズを中心に左右均等
垂直投写位置……（下表参照）

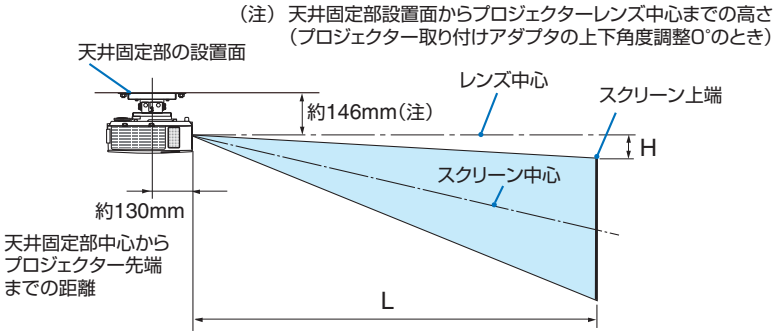



（注）プロジェクター設置面からレンズ中心までの高さ
（チルトフットを最小にした高さを含む）

| スクリーンサイズ（型） | 投写距離 L（m） | | 寸法 H（cm） |
|---|---|---|---|
| | ワイド時 | テレ時 | |
| 21 | 0.74 | 1.27 | 4.2 |
| 25 | 0.89 | 1.51 | 5.0 |
| 30 | 1.06 | 1.81 | 6.0 |
| 40 | 1.42 | 2.41 | 8.0 |
| 60 | 2.13 | 3.61 | 12.0 |
| 72 | 2.55 | 4.34 | 14.3 |
| 80 | 2.83 | 4.82 | 15.9 |
| 84 | 2.98 | 5.06 | 16.7 |
| 90 | 3.19 | 5.42 | 17.9 |
| 100 | 3.54 | 6.02 | 19.9 |
| 120 | 4.25 | 7.23 | 23.9 |
| 150 | 5.31 | 9.03 | 29.9 |
| 180 | 6.38 | 10.84 | 35.9 |
| 200 | 7.08 | 12.04 | 39.8 |

参考

- 天吊り金具（別売）設置時の投写距離について
  投写距離（L）、寸法（H）はデスクトップの例と同じです。




- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

# 対応解像度一覧

アナログ RGB

| 信号名 | 解像度（ドット） | アスペクト比 | 垂直走査周波数（Hz） |
|---|---|---|---|
| VGA | 640 × 480 | 4 : 3 | 60/72/75/85 |
| SVGA | 800 × 600 | 4 : 3 | 56/60/72/75/85 |
| XGA | 1024 × 768 | 4 : 3 | 60/70/75/85 |
| XGA+ | 1152 × 864 | 4 : 3 | 70/75/85 |
| WXGA | 1280 × 768 | 15 : 9 | 60 |
| | 1280 × 800 | 16 : 10 | 60 |
| Quad-VGA | 1280 × 960 | 4 : 3 | 60 |
| SXGA | 1280 × 1024 | 5 : 4 | 60/75/85 |
| SXGA+ | 1400 × 1050 | 4 : 3 | 60 |
| WXGA+ | 1440 × 900 | 16 : 10 | 60 |
| UXGA | 1600 × 1200 | 4 : 3 | 60 |
| HD | 1280 × 720 | 16 : 9 | 60 |
| MAC 13" | 640 × 480 | 4 : 3 | 67 |
| MAC 16" | 832 × 624 | 4 : 3 | 75 |
| MAC 19" | 1024 × 768 | 4 : 3 | 75 |
| MAC 21" | 1152 × 870 | 4 : 3 | 75 |
| Full HD | 1920 × 1080 | 16 : 9 | 60 |

HDMI

| 信号名 | 解像度（ドット） | アスペクト比 | 垂直走査周波数（Hz） |
|---|---|---|---|
| VGA | 640 × 480 | 4 : 3 | 60 |
| SVGA | 800 × 600 | 4 : 3 | 60 |
| XGA | 1024 × 768 | 4 : 3 | 60 |
| WXGA | 1280 × 768 | 15 : 9 | 60 |
| | 1280 × 800 | 16 : 10 | 60 |
| | 1366 × 768 | 16 : 9 | 60 |
| Quad-VGA | 1280 × 960 | 4 : 3 | 60 |
| SXGA | 1280 × 1024 | 5 : 4 | 60 |
| SXGA+ | 1400 × 1050 | 4 : 3 | 60 |
| WXGA+ | 1440 × 900 | 16 : 10 | 60 |
| WXGA++ | 1600 × 900 | 16 : 9 | 60 |
| HDTV(1080p) | 1920 × 1080 * | 16 : 9 | 24/50/60 |
| HDTV(1080i) | 1920 × 1080 * | 16 : 9 | 50/60 |
| HDTV (720p) | 1280 × 720 | 16 : 9 | 50/60 |
| SDTV (480p) | 720 × 480 | 4:3 / 16:9 | 60 |
| SDTV (576p) | 720 × 576 | 4:3 / 16:9 | 50 |

コンポーネント

| 信号名 | 解像度（ドット） | アスペクト比 | 垂直走査周波数（Hz） |
|---|---|---|---|
| HDTV(1080p) | 1920 × 1080 * | 16 : 9 | 50/60 |
| HDTV(1080i) | 1920 × 1080 * | 16 : 9 | 50/60 |
| HDTV (720p) | 1280 × 720 | 16 : 9 | 50/60 |
| SDTV (480p) | 720 × 480 | 4:3 / 16:9 | 60 |
| SDTV (576p) | 720 × 576 | 4:3 / 16:9 | 50 |
| SDTV(480i) | 720 × 480 | 4:3 / 16:9 | 60 |
| SDTV(576i) | 720 × 576 | 4:3 / 16:9 | 50 |

コンポジット　ビデオ／ S- ビデオ

| 信号名 | アスペクト比 | 垂直走査周波数（Hz） |
|---|---|---|
| NTSC | 4 : 3 | 60 |
| PAL | 4 : 3 | 50 |
| PAL60 | 4 : 3 | 60 |
| SECAM | 4 : 3 | 50 |

*: リアル表示

- オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。正しく表示されない場合は、適切なアスペクトを選択し設定してください。
- 本機の解像度を超える信号は圧縮して表示します。
- 圧縮表示の場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。
- コンピュータ信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

3D コンピュータ

| 3D 方式 | 信号名 | 解像度（ドット） | アスペクト比 | 垂直走査周波数（Hz） |
|---|---|---|---|---|
| Frame Sequential | XGA | 1024 × 768 | 4 : 3 | 60/120 |
| | HDTV（720p） | 1280 × 720 | 16 : 9 | 60 |
| | WXGA | 1280 × 800 | 16 : 10 | 60/120 |
| Side-by-Side | XGA | 1024 × 768 | 4 : 3 | 60 |
| | HDTV（720p） | 1280 × 720 | 16 : 9 | 60 |
| | WXGA | 1280 × 800 | 16 : 10 | 60 |
| Top-and-Bottom | XGA | 1024 × 768 | 4 : 3 | 60 |
| | HDTV（720p） | 1280 × 720 | 16 : 9 | 60 |
| | WXGA | 1280 × 800 | 16 : 10 | 60 |

3D コンポーネント

| 3D 方式 | 信号名 | 解像度（ドット） | アスペクト比 | 垂直走査周波数（Hz） |
|---|---|---|---|---|
| Frame Sequential | SDTV（480i） | 720 × 480 | 4 : 3 | 60 |

3D コンポジットビデオ／ S- ビデオ

| 3D 方式 | 信号名 | 解像度（ドット） | アスペクト比 | 垂直走査周波数（Hz） |
|---|---|---|---|---|
| Frame Sequential | NTSC | − | 4 : 3 | 60 |

3D HDMI

| 3D 方式 | 信号名 | 解像度（ドット） | アスペクト比 | 垂直走査周波数（Hz） |
|---|---|---|---|---|
| Frame packing | HDTV（720p） | 1280 × 720 | 16 : 9 | 50/60 |
| | HDTV（1080p） | 1920 × 1080 | 16 : 9 | 24 |
| Top-and-Bottom | HDTV（720p） | 1280 × 720 | 16 : 9 | 50/60 |
| | HDTV（1080p） | 1920 × 1080 | 16 : 9 | 24 |
| Side-by-Side | HDTV（1080i） | 1920 × 1080 | 16 : 9 | 50(25)/60(30) |

- 映像信号表示領域
  水平走査周波数：30k ～ 100kHz
  垂直走査周波数：50 ～ 120Hz
- ピクセルクロック周波数の上限
  アナログ：162MHz
  デジタル：165MHz

# 仕様

| | | | |
|---|---|---|---|
| 形名 | | | NP-PE401HJD |
| 方式 | | | 単板 DLP 方式 |
| | DLP チップ | 画素数 (*1) | 2,073,600 画素（1920 ドット× 1080 ライン） |
| | 投写レンズ | フォーカス | マニュアル |
| | 光源 | | 330W AC ランプ（エコモード時 248W） |
| | 光学装置 | | カラーフィルタ回転による色分離 |
| 明るさ (*2) (*3) | | | 4000 lm |
| コントラスト比 (*2)（全白 / 全黒） | | | 2000:1（ダイナミックコントラスト「オン」時） |
| 画面サイズ（投写距離） | | | 23 ～ 200 型（0.82 ～ 12m） |
| 色再現性 | | | 10 ビット カラープロセッシング（約 10 億 7000 万色） |
| 音声出力 | | | 8W + 8W ステレオスピーカ内蔵 |
| 走査周波数 | | 水平 | 30 ～ 100kHz |
| | | 垂直 | 50 ～ 120Hz |
| 主な調整機能 | | | 台形補正、マニュアルフォーカス、入力信号切替（コンピュータ /HDMI/ ビデオ /S- ビデオ）、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート（映像 / 音声とも）、電源オン / オフ、オンスクリーン表示 / 選択など |
| 最大表示解像度（横×縦） | | | 1920 × 1080 |
| 入力信号 | R,G,B,H,V | | RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 |
| | | | H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性 |
| | コンポジットビデオ | | 1.0Vp-p / 75 Ω |
| | S- ビデオ | | Y:1.0Vp-p / 75 Ω |
| | | | C:0.286Vp-p / 75 Ω |
| | コンポーネント | | Y:1.0Vp-p / 75 Ω（With Sync） |
| | | | Cb,Cr（Pb,Pr）:0.7Vp-p / 75 Ω |
| | | | DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p（60Hz）<br>576i, 576p, 720p, 1080i（50Hz） |
| | | | DVD: プログレッシブ信号（50/60Hz） |
| | 音声 | | 0.5Vrms / 22k Ω以上 |
| 入出力端子 | コンピュータ / コンポーネント | 映像入力 | ミニ D-Sub 15 ピン× 1 |
| | | 映像出力 | ミニ D-Sub 15 ピン× 1 |
| | | 音声入力 | ステレオミニジャック× 1 |
| | | 音声出力 | ステレオミニジャック× 1（全信号共通） |
| | HDMI | 映像入力 | HDMI タイプ A × 2（DeepColor、LipSync、HDCP 対応 (*4)） |
| | | 音声入力 | HDMI（LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48KHz） |
| | ビデオ | 映像入力 | RCA × 1 |
| | | 音声入力 | RCA（RCA L/R）× 1 |
| | S- ビデオ | 映像入力 | ミニ DIN4 ピン× 1 |
| | | 音声入力 | （ビデオの音声入力端子と共通） |
| | PC コントロール端子 | | D-Sub 9 ピン× 1 |
| | LAN ポート | | RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX |
| 使用環境 | | | 動作温度 :5 ～ 40℃ (*5)<br>動作湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと） |
| | | | 保存温度 : － 10 ～ 50℃<br>保存湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと） |
| | | | 動作高度 :0 ～ 3000m（760 ～ 3000m はファンモード「高速」） |
| 電源 | | | AC 100V 50/60Hz (*6) |

| 形名 | | NP-PE401HJD |
|---|---|---|
| 消費電力 | エコモード切り時 | 410W |
| | エコモード時 | 310W |
| | スタンバイ時 | 12W |
| | 省電力時 | 0.5W |
| 定格入力電流 | | 4.3A |
| 外形寸法 | ケーブルカバー非装着時 | 350（幅）× 105（高）× 281（奥行）mm（突起部含まず） |
| | ケーブルカバー装着時 | 350（幅）× 105（高）× 376（奥行）mm（突起部含まず） |
| 質量 | | 4.6kg |

（＊1）： 有効画素数は 99.99%です。

（＊2）： 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

（＊3）： エコモードが「オフ」、ピクチャーモードが高輝度モードのときの明るさです。
エコモードにすると、明るさが約 75%に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

（＊4）： HDCP/HDCP 技術とは？
HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
本機には、HDMI 入力端子を装備しています。
本機の HDMI 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。
ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。

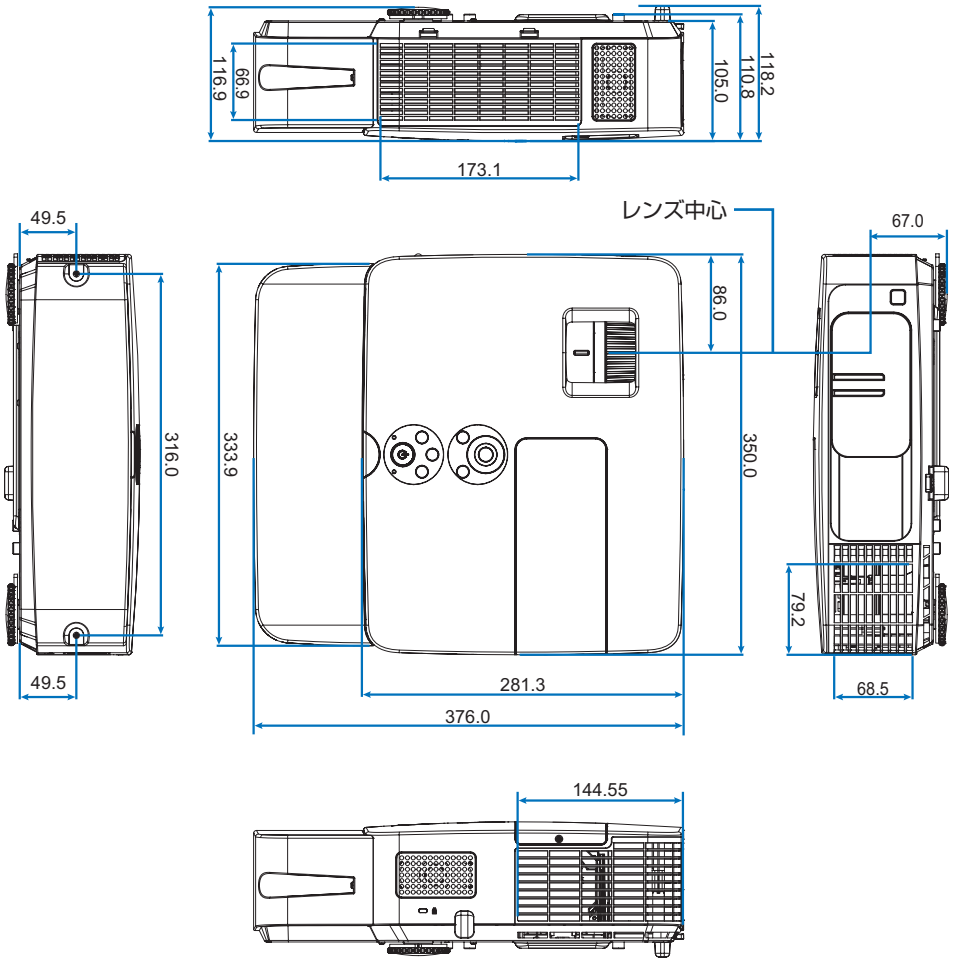
（＊5）： 35 ～ 40℃は、自動的にエコモードになります。

（＊6）： 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

# 外観図

単位：mm


116.9
66.9
105.0
110.8
118.2
173.1
49.5
316.0
49.5
レンズ中心
333.9
86.0
350.0
281.3
376.0
67.0
79.2
68.5
144.55

# ケーブルカバーの取り付けかた

添付のケーブルカバーを本体に取り付けると接続線がかくれてきれいな外観になります。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | ● ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。ケーブルカバーが落下してけがをするおそれがあります。また、落下するとケーブルカバーが破損します。<br>● 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因になります。 |

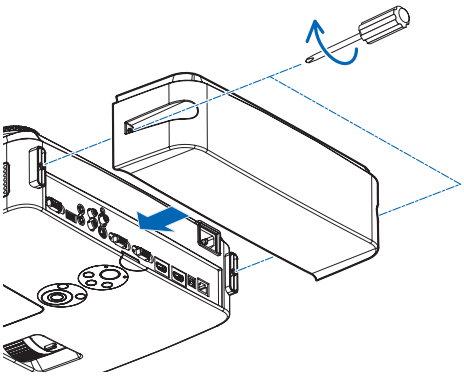
| | |
|---|---|
| ⚠注意 | ● ケーブルカバーを取り付け後、プロジェクターを移動する際は、ケーブルカバーを持たないでください。ケーブルカバーが外れ本体が落下し、けがの原因となることがあります。 |

## 取り付けかた

**準備：** **1.** 電源コードやケーブル類を本機と接続してください（図は天吊り設置の場合です。接続線を省略しています）。
**2.** プラスドライバーを用意してください。

**1** **ケーブルカバーを本体のケーブルカバー取り付け部（2 箇所）に合わせる。**

注意 ● 電源コードやケーブル類をケーブルカバーではさまないようにしてください。



**2** **ケーブルカバーネジを右に回してしめる。**

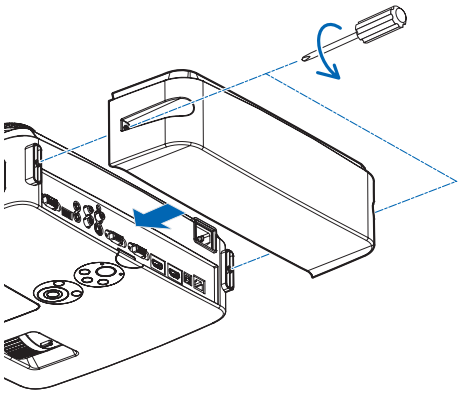
・ネジは確実にしめてください。

## 取り外しかた

**1** **ケーブルカバーネジを空転するまで左に回してゆるめます。**

・ケーブルカバーが落下しないように手を添えて行います。
・ネジは外れません。

**2** **ケーブルカバーを外します。**



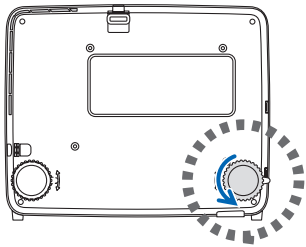
# 天井用取付けユニット（別売）を使用する際のご注意

別売の天井用取付けユニット（NP12CM）の部品「プロジェクター取り付けアダプタ」を本機に取り付ける際は、次の点にご注意ください。

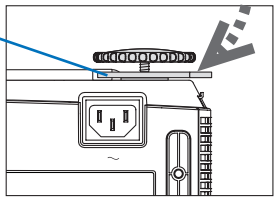
その他の取り付け手順は、天井用取付けユニット（NP12CM）に添付の設置調整説明書をご覧ください。

**1 右側のリアフットを回し、本体とリアフットの間に隙間を作る。**

・ リアフット固定用ゴムは外さないでください。

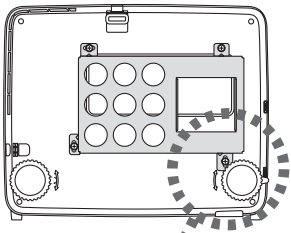


リアフット固定用ゴム

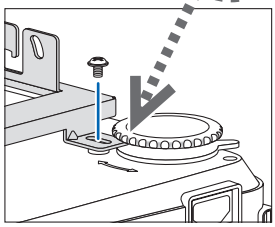


**2 プロジェクター取り付けアダプタ（天井用取付けユニットの部品）を本体底面のネジの位置に合わせる。**

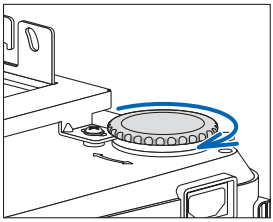
・ 手順1で作った隙間に、プロジェクター取り付けアダプタの一部を挿入します。



**3 4 箇所のネジを締めて本体底面に固定する。**

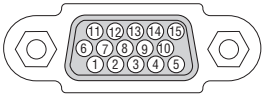


**4** 手順 **1** のリアフットを逆側に軽く回し、隙間をなくす。



# コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

## 各ピンの接続と信号レベル




## 信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号 ：TTL レベル

| ピン番号 | RGB 信号（アナログ） | YCbCr 信号 |
|---|---|---|
| 1 | 赤 | Cr |
| 2 | 緑 | Y |
| 3 | 青 | Cb |
| 4 | 接　地 | |
| 5 | 接　地 | |
| 6 | 赤　　接　地 | Cr　接　地 |
| 7 | 緑　　接　地 | Y　接　地 |
| 8 | 青　　接　地 | Cb　接　地 |
| 9 | 非接続 | |
| 10 | 同期信号　　接　地 | |
| 11 | 非接続 | |
| 12 | Bi-directional DATA（SDA） | |
| 13 | 水平またはコンポジット同期 | |
| 14 | 垂直同期 | |
| 15 | Data Clock | |

参考

- Virtual Remote Tool では、コンピュータ映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

## 現象と確認事項

| このようなとき | 確認してください | 参照ページ |
|---|---|---|
| 電源が入らない | 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 | 28 |
| | ランプカバーが正しく取り付けられていますか。 | 101 |
| | ランプ固定のネジがゆるんでいませんか。 | 101 |
| | ランプ交換時間（目安）※を超えて使用していませんか。<br>新しいランプに交換してください。<br>交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの〔ヘルプ〕ボタンを押してください。本機の電源が入るようになります。オンスクリーンメニューのオプション→ランプ／フィルタ設定の「ランプ時間クリア」を実行してください。<br>※保証時間ではありません。 | 98 |
| | 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。 | 123 |
| | 標高約 760m 以上の高地で本機を使用していませんか。<br>高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高速」を選択してください。<br>高地で本機を使用する場合にファンモードで「高速」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。 | 81 |
| | 上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。 | 28 |
| 使用中に電源が切れる | オンスクリーンメニューのオートパワーオフ（分）またはオフタイマー（分）を設定していませんか。 | 85 |

| | | |
|---|---|---|
| 映像が出ない | 接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。 | 31 |
| | 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。 | 86 ～ 93 |
| | 映像調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。 | 72 |
| | コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。<br>コンピュータの解像度を確認してください。 | 107 |
| | コンピュータ信号（RGB）の場合、画面調整を正しく行っていますか。 | 38 |
| | コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、120 ページをご覧ください。 | — |
| | 各設定が正しく調整・設定されていますか。 | 68 |
| | それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。 | 82 |
| | セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。 | 46 |
| | ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。 | — |
| | 標高約 760m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高速」に設定してください。 | 81 |
| 映像が歪む | 正しく設置されていますか。 | 33 |
| | 台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。 | 36 |
| 映像がぼやける | レンズのフォーカスは合っていますか。 | 35 |
| | 投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。 | 33 |
| | 投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。 | 104 |
| | レンズなどが結露していませんか。<br>気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。 | — |
| 映像の画質が悪い | コンピュータ信号（RGB）の場合、（自動調整）ボタンを押してください。 | 38 |
| 画面がちらつく | オンスクリーンメニューのファンモードで「高速」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 760m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。ファンモードで「自動」を選択してください。 | 81 |
| 映像が乱れる | 本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。 | — |
| 映像が突然暗くなった | 室温が高いため、本体内部が高温になっていませんか。<br>ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。 | — |

| | | |
|---|---|---|
| 水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない | コンピュータ信号（RGB）の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。 | 78 |
| | コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。<br>コンピュータの解像度を確認してください。 | 107 |
| コンピュータ信号（RGB）で文字がちらついたり色がずれている | 自動調整ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。 | 38<br>78 |
| リモコンで操作できない | リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。 | 26 |
| | リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 | 25 |
| | リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 | 26 |
| | リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。 | 26 |
| | 本機のリモコンを使って、コンピュータのマウス操作を行う場合は、別売のマウスレシーバをコンピュータに接続してください。 | 55 |
| インジケータが点滅する | インジケータ表示一覧をご覧ください。 | 122<br>123 |
| 本機の動作が不安定になる | 電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。 | 28 |

## コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

### ●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

### ●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

**参考**

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
  Fn キーを押したまま（ /  ）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
  通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
- Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

| | |
|---|---|
| Fn + F2 | MSI |
| Fn + F3 | NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex |
| Fn + F4 | HP、Gateway |
| Fn + F5 | ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC |
| Fn + F7 | SONY、IBM、Lenovo、HITACHI |
| Fn + F8 | DELL、ASUS、EPSON、HITACHI |
| Fn + F10 | FUJITSU |

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

## ● ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

## ● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプタ（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

## ● MacBook と本機を同時に表示させる場合

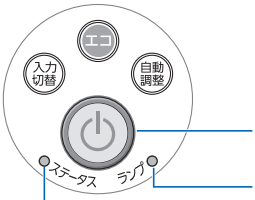
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

## ● Mac の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

# インジケータ表示一覧

本体操作部の 3 つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。




## ●電源インジケータ

| インジケータ表示 | | 本機の状態 | 行ってください |
|---|---|---|---|
| 消灯 | | 主電源が切れている | — |
| 点滅 | 青色（短い点滅） | 電源オン準備中 | しばらくお待ちください。 |
| | 青色（長い点滅） | オフタイマー（有効状態） | — |
| 点灯 | 青色 | 電源オン状態 | — |
| | オレンジ色 | スタンバイ状態<br>（スタンバイモードが「標準」） | — |
| | 赤色 | スタンバイ状態<br>（スタンバイモードが「省電力」） | — |

## ●ステータスインジケータ

| インジケータ表示 | | 本機の状態 | 行ってください |
|---|---|---|---|
| 消灯 | | 異常なし、またはスタンバイ状態（スタンバイモードが「省電力」） | — |
| 点滅 | 赤色（2 回周期） | 温度異常 | プロジェクター内部の温度が高温になっています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。（次ページ） |
| | 赤色（3 回周期） | 電源異常 | 電源が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。 |
| | 赤色（4 回周期） | ファン異常 | 冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。 |
| | 赤色（6 回周期） | ランプ不点灯 | ランプが点灯しません。1 分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。 |
| | 緑色 | ランプ点灯失敗後の再点灯準備中 | しばらくお待ちください。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 点灯 | 緑色 | スタンバイ状態（スタンバイモードが「標準」） | — |
| | オレンジ色 | 本体キーロックが「オン」 | 本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。（85 ページ） |

## ●ランプインジケータ

| インジケータ表示 | | 本機の状態 | 行ってください |
|---|---|---|---|
| 消灯 | | 異常なし | — |
| 点滅 | 赤色 | ランプ交換猶予時間中 | ランプ交換の猶予時間（100 時間）中です。すみやかにランプを交換してください。（98 ページ） |
| 点灯 | 赤色 | ランプ使用時間超過 | ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。（98 ページ） |
| | 緑色 | エコモード時 | — |

## ●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、ステータスインジケータが点滅します（2 回点滅の繰り返し）。
同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。
このようなときは、以下のことを行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。（95, 97 ページ）
- 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

# トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな？と思ったら」をご覧いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。　※このページと次のページを印刷してお使いください。

**発生頻度**　□常時　□時々（　　回中　　回）　□その他(　　)

## 電源関係

- □ 電源が入らない（電源インジケータが青色に点灯しない）。
  - □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
  - □ ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
  - □ ⏻ボタンを押しても電源が入らない。
- □ 使用中、電源が切れる。
  - □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
  - □ オートパワーオフ（分）は「0」に設定されている。
  - □ オフタイマー（分）は「0」に設定されている。

## 映像・音声関係

- □ コンピュータの画面が投写されない。
  - □ コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。
  - □ ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。

    Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（コンピュータによって異なります）。
- □ 映像が出ない（ブルーバック ・ ロゴ ・ 表示なし）。
  - □ 自動調整ボタンを押してもなおらない。
  - □ リセットを実行してもなおらない。
  - □ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
  - □ 画面に何かメッセージが出ている。
    （　　）
  - □ 接続している入力を選択している。
  - □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
  - □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □ 映像が暗い。
  - □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □ 映像が歪む。
  - □ 台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。
- □ 映像が切れる。
  - □ 自動調整 ボタンを押してもなおらない。
  - □ リセットを実行してもなおらない。
  - □ 水平または垂直方向に映像がずれる。
  - □ コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
  - □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
  - □ 数ドット欠けている。
- □ 映像がちらつく。
  - □ 自動調整ボタンを押してもなおらない。
  - □ リセットを実行してもなおらない。
  - □ コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
  - □ ファンモードを「高速」から「自動」にしてもなおらない。
- □ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
- □ 音声が出ない。
  - □ 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
  - □ 音量を調整してもなおらない。

## その他

- □ リモコンが利かない。
  - □ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
  - □ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- □ 本体操作パネルのボタンが利かない。
  本体キーロック設定のある機種において
  - □ 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
  - □ 本体の 戻る ボタンを10秒以上押してもなおらない。

症状を具体的に記入してください。

## 使用状況・環境

### プロジェクター

形名：☐ **NP-PE401HJD**

製造番号：

購入時期：

ランプ使用時間：

エコモード：☐オフ ☐エコ

入力信号情報：

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H ☐(+) ☐(−)

V ☐(+) ☐(−)

同期形態 ☐セパレート ☐ミックス

☐Gシンク

ステータスインジケータの状態

点灯（オレンジ・緑）

点滅（　　回周期）

### 設置環境

スクリーンサイズ：　　型

タイプ：☐ホワイトマット ☐ビーズ ☐偏光

☐広視野角 ☐ハイコントラスト

投写距離：　　m

投写方法：☐天吊り ☐床置き

電源コンセントは？

☐壁からのコンセントを直接利用している。

☐電源用テーブルタップを利用している。

（他、接続機器の数：　　台）

☐電源ドラム（ロール式）を利用している。

（他、接続機器の数：　　台）

### コンピュータ

メーカー：

形名：

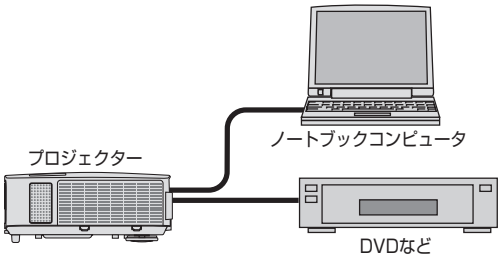
ノートブックコンピュータ・デスクトップ一体型

解像度：

リフレッシュレート：

ビデオボード：

その他：




### 信号ケーブル

純正・その他

（形名：　　長さ：　　m）

分配器

形名：

スイッチャ

形名：

アダプタ

形名：

### 接続機器

ビデオ ・ DVD ・ カメラ ・ ゲーム ・ その他

メーカー：

形名：

# 索引

## 数字／アルファベット


3D 設定 75
AC IN 端子 20, 28
AMX Control 60
AV ミュート 42
BrilliantColor ™ 73
CRESTRON ROOMVIEW 60
DHCP 79
HDCP 111
HDMI 設定 77
HTTP 60
IP アドレス 61, 79
LAN 60, 62, 79, 94
NEC Projector CD-ROM 18
PC CONTROL モード 79
PC Control Utility Pro 4/Pro 5 62
PJLink 60
sRGB 71
Virtual Remote Tool 49


## 五十音


【ア行】
明るさ 72
アスペクト 74
位相 78
色温度 73
インジケータ表示 122
映像調整 71
エコモード 82
オートパワーオフ（分） 85
オーバースキャン 74
オプション 81
オフタイマー（分） 85
オンスクリーン非表示 81
オンスクリーンメニュー 67, 68
音量 39, 77

【カ行】
解像度 107
壁色補正 72
カラー 73
カラースペース 73
ガンマ補正 73
吸気口 19, 95
クローズドキャプション 80
クロック周波数 78
ゲートウェイ 79
ケーブルカバー 113
言語 29, 76
コントラスト 72
コンピュータケーブル 17, 28, 52, 86

【サ行】
彩度 72
サブネットマスク 79
色相 72
自動調整 38
自動入力切換 81
シャープネス 72
情報 84
信号選択 31
水平位置／垂直位置 78
垂直台形補正 74
ズームレバー 19, 35
スクリーンサイズ 104
スクリーン調整 74
スタンバイモード 84
ステータスインジケータ 21, 122
スピーカ 19, 20, 39
静止 42
セキュリティ 44, 80
セキュリティバー 20
接続端子部 20, 22
設置 76, 104

【タ行】
台形歪み 36
台形補正 36
ダイナミックコントラスト 73
ダイレクトパワーオフ 16
ダイレクトパワーオン 85
端子 81
チルトフット／チルトボタン 19, 34
電源インジケータ 21, 122
電源コード 17, 28
投写距離 104
投写方法 76
盗難防止用ロック 20

【ナ行】
入力信号 31
入力端子 22
ネットワーク 79

【ハ行】
バックグラウンド 82
ピクチャーモード 71
フィルタ時間クリア 83
フィルタ使用時間 82
フィルタ清掃時間 83
ファンモード 81
フォーカスリング 19, 35
部分拡大 43
本体キーロック 85
本体操作部 19, 21

【マ行】
ミュート 77

【ヤ行】
有線 LAN 60, 62, 79, 94

【ラ行】
ランプインジケータ 21, 123
ランプカバー 20, 100
ランプ時間クリア 83
ランプ使用時間 82
ランプの交換 100
ランプ 98, 100
ランプ／フィルタ設定 82
ランプメッセージ 83
リアフット 34
リセット 82
リモコン 17, 23
リモコン受光部 19, 26
リモコン受光部設定 77
レンズ 19, 96
ロゴ 79

# 別売品／商標について

## ●別売品

| 商　品　名 | | 形　名 |
|---|---|---|
| ランプ | 交換用ランプ | NP24LP |
| 天吊り金具 | 天井用取付けユニット | NP12CM |

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

## ●商標について

- ViewLight、ビューライトは、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Apple、Macintosh、Mac、Mac Book、Mac OS は、米国 Apple Inc. の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の登録商標または商標です。

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- DLP(Digital Light Processing)、BrilliantColor はテキサス・インスツルメンツの商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。

# 保証と修理サービス（必ずお読みください）

## 保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

### ●保証期間

・本体：お買い上げ日から 1 年間です。（ただし添付品は除く）
・本体に付属のランプ：次の（1）と（2）の早いほうまでです。
（1）お買い上げから 6 か月間。
（2）「エコモード」を「オフ」で使用して、「ランプ使用時間」が 1250 時間になるまで。

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（117 ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（124, 125 ページ）で現象を確認してください。
その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

### ●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

#### ご連絡していただきたい内容

| | |
|---|---|
| 品　　名 | NEC プロジェクター |
| 形　　名 | NP-PE401HJD |
| お買い上げ日 | 年　　月　　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご　住　所 | 付近の目印なども合わせてお知らせください。 |
| お　名　前 | |
| 電 話 番 号 | |
| 訪問ご希望日 | |

| | | |
|---|---|---|
| べんり メモ | お買い上げ 店名 | ☎（　　）　－ |

### ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

#### 修理料金の仕組み

・ 技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
＋
・ 部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋
・ 引取費用
製品を引き取りするための費用です。

**プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターのトータルサポート窓口**

## NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

● NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

**TEL 0120-610-161　FAX 0120-134-516**

受付時間　9:00～18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ　http://www.nec-display.com/jp/support/projector/

**法人様向けユーザーサポートクラブ**

## ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料

● より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法　本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ　http://www.nec-display.com/jp/support/projector/vlclub/

### 輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社